

# **2019年度言語教育研究センター カリキュラムアンケート**

**2020年3月31日**

**上智大学言語教育研究センター  
FD委員会・初習言語カリキュラム委員会**

## はじめに

本報告書は、2019年6月に実施された「言語教育研究センターカリキュラムアンケート」の結果の概略をまとめたものです。言語教育研究センターでは、2016年度にドイツ語、フランス語、イスパニア語、中国語、コリア語、2019年度にイタリア語においてカリキュラム変更が行われました。また2019年度には100分授業化に伴い、主要言語における時間割のブロック制(※1)を導入しました。

このアンケートは、同センターが開講する語学科目と、同センターが運営するLLC (Language Learning Commons)について、カリキュラム改定後の状況を把握し、今後のカリキュラムをより一層充実させることを目的として行われました。ここにLLCに関する質問が含まれているのは、教室内の学習と教室外での学習が相互に補完しあってこそ語学科目のカリキュラムは完結するものであり、授業とは別の学習サポートを学生に対して提供することが不可欠だと考えるからです。

本アンケートは、できるだけ多くの1年次生に効率的に回答してもらうため、1年次生の必修科目である“Academic Communication 1”の授業内で実施しました。また、英文学科、英語学科にもご協力いただき、両学科の1年次生にもアンケートの配布を行っております。対象者数2,569人に対し回答数は2,384件で、回答率は92.8%でした。アンケートの回答にご協力くださった学生諸君、実施に協力してくださった英文・英語両学科に対して深く感謝の意を表します。

言語教育研究センターでは22言語(※2)の語学科目を開講し、広範囲にわたる外国語学習の機会を提供してきました。この調査結果を精査し、より多くの上智大学生にとって履修したいと思え、また履修しやすいカリキュラムの策定に役立てていこうと考えています。

※1 学部学科の必修科目と時間割の重複を避けるため、学部ごとに語学の時間割を指定する仕組み。

必修英語のブロックと初習言語(ドイツ語、フランス語、イスパニア語、イタリア語、中国語、コリア語)の2つのブロックを2019年度から設定している。

※2 哲学科開講のラテン語を含む。

2020年3月31日

言語教育研究センター  
初習言語カリキュラム委員会  
廣康 好美(委員長)  
正木 晶子  
北村 亜矢子  
堤 康德  
黄 琬婷  
金 アラン  
小澤 知紗(事務局)

FD委員会  
北村 亜矢子(委員長)  
小柳 かおる  
佐藤 敬典  
秋場 葉子(事務局)

## 調査概要

### 1 実施期間

2019年6月17日～6月28日

### 2 実施方法

- ・Academic Communication 1(以下AC1)の授業内で、履修者全員を対象に実施。
- ・英文学科、英語学科には各学科の必修科目内で同時期に配付、実施。
  - \* AC1は英文学科、英語学科、国際教養学部、理工学部英語コースを除く、全1年次生の必修科目である。

### 3 対象者

- ・Academic Communication 1(AC1)の履修登録者
- ・英文学科、英語学科1年次生(一部2年次以上含む)
  - \* 昨年度までにAC1を未修得の学生で、再履修中の2年次生以上を含む。
  - \* AC1を履修していない国際教養学部、理工学部(英語コース)は本調査の対象外。

### 4 調査対象数と回答数

対象数	回答数	回答率
2,569	2,384	92.8%

### 5 用語に関して

- ・言語教育研究センターでは、英語・日本語を除く20言語を「初習言語」と表現しているが、今回の調査では英語以外の第2外国語という意味で「初習言語」の中に日本語を含めている。
- ・必修・選択必修として語学の履修が必要な学科のことを、本調査では「初習言語の履修が必要な学科」と表現する。

### 6 データの公開と帰属について

調査結果は、上智大学ファカルティ・ディベロップメント委員会HP(<http://www.fd-sophia.jp/>)上で公開する。  
アンケート用紙の保存期間は、5年間(2024年度末まで)とする。  
在籍者数等の基本データを除き、アンケートで得られたデータ及び報告書の内容は全て上智大学言語教育研究センターに帰属する。引用、転載を希望する場合は、言語教育研究センターにご相談ください。

#### ◆調査・分析

上智大学言語教育研究センター  
〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1  
TEL 03-3238-3699  
HP <http://www.sophia-cler.jp/>  
E-mail [info\\_cler@sophia.ac.jp](mailto:info_cler@sophia.ac.jp)

#### ◆データ集計(読み込み・単純集計)

株式会社教育ソフトウェア  
〒192-0081 東京都八王子市横山町10-2 八王子SIAビル  
TEL 042-649-9602 FAX 042-649-9603  
HP <https://www.kyoikusw.co.jp>

# 2019年度 言語教育研究センター カリキュラムアンケート

## 【アンケートの目的】

このアンケートは、言語教育研究センター開講の語学科目のカリキュラムについて現状を把握し、カリキュラムの改善・充実をはかることを目的としています。ご協力のほどお願いいたします。

- ① この調査では学年、所属を分析するため学生番号を途中まで記入していただきますが、個人を特定した評価や分析を行うものではありません。
- ② 筆記用具は何でも結構です。**この用紙に直接書き込んでください。**
- ③ 特に指示がない場合は、もっとも当てはまるもの1つを選んで、番号を○で囲んでください。複数回答可とあるものは、複数の番号に○をつけることができます。

あなたの学生番号(下3桁不要)と学科を教えてください。

A						
---	--	--	--	--	--	--

	学科
--	----

神、哲(英語・フランス語選択)、史、英文、新聞、心理、英語学科及び法学部、経済学部の学生は設問1から、それ以外の学科の学生は設問4から回答してください。

英文、ドイツ文、フランス文学科及び外国語学部の学生は、専攻の言語以外について回答してください。

1. あなたが英語以外で必修、選択必修科目として履修している言語に1つだけ○をつけてください。

- |            |           |
|------------|-----------|
| 1 ドイツ語     | 12 アラビア語  |
| 2 フランス語    | 13 タイ語    |
| 3 スペイン語    | 14 ペルシア語  |
| 4 イタリア語    | 15 カンボジア語 |
| 5 中国語      | 20 スワヒリ語  |
| 6 コリア語     | 21 日本語    |
| 7 ロシア語     |           |
| 8 ポルトガル語   |           |
| 9 ラテン語     |           |
| 10 インドネシア語 |           |
| 11 フィリピン語  |           |

→ 設問2に進む

23 必修、選択必修の語学科目が必要だが、今学期は履修していない

→ 設問4に進む

2. あなたがこの言語を必修、選択必修科目として選んだ理由は何ですか？もっとも当てはまる理由を1つ選んで○をつけてください。

- 1 言語、国、社会、文化等に興味がある／好きだから
- 2 旅行したい／友人と話したい／その国で仕事をしたいから等
- 3 専攻の学習や仕事に役に立つ／話者が多いから等
- 4 簡単そう／勧められた／友達が選んだから等

→ 設問4に進む

- 5 他科目と時間割が重複して希望の言語が履修できなかったから
- 6 希望の言語の抽選に外れ、履修できなかったから

→ 設問3に進む

7 その他(具体的な内容を以下に記入してください)

→ 設問4に進む

3. 設問2で「希望の言語が履修できなかった」(5番、6番)と答えた人は、履修したかった言語は何語ですか？(複数回答可)

- |            |           |
|------------|-----------|
| 1 ドイツ語     | 12 アラビア語  |
| 2 フランス語    | 13 タイ語    |
| 3 スペイン語    | 14 ペルシア語  |
| 4 イタリア語    | 15 カンボジア語 |
| 5 中国語      | 20 スワヒリ語  |
| 6 コリア語     | 21 日本語    |
| 7 ロシア語     |           |
| 8 ポルトガル語   |           |
| 9 ラテン語     |           |
| 10 インドネシア語 |           |
| 11 フィリピン語  |           |

4. 必修、選択必修としてではなく、選択科目として履修している言語はありますか？

- 1 はい → 設問5に進む
- 2 履修を希望しなかった
- 3 他科目と時間割が重複して履修できなかった
- 4 希望の言語に空席がなく、履修できなかった

→ 設問7に進む

5. あなたが英語以外に選択科目として履修している言語すべてに○をつけてください。(複数回答可)

- |            |           |
|------------|-----------|
| 1 ドイツ語     | 12 アラビア語  |
| 2 フランス語    | 13 タイ語    |
| 3 スペイン語    | 14 ペルシア語  |
| 4 イタリア語    | 15 カンボジア語 |
| 5 中国語      | 16 ビルマ語   |
| 6 コリア語     | 17 トルコ語   |
| 7 ロシア語     | 18 ベトナム語  |
| 8 ポルトガル語   | 19 ヒンディー語 |
| 9 ラテン語     | 20 スワヒリ語  |
| 10 インドネシア語 | 21 日本語    |
| 11 フィリピン語  |           |

6. あなたがこの言語を選択科目として選んだ理由は何ですか？もっとも当てはまる理由を各言語1つ選んで○をつけてください。(4言語以上履修している方は主な3言語に関して記入してください。)

- 1 言語、国、社会、文化等に興味がある／好きだから
- 2 旅行したい／友人と話したい／その国で仕事をしたいから等
- 3 専攻の学習や仕事に役に立つ／話者が多いから等
- 4 簡単そう／勧められた／友達が選んだから等
- 5 その他(具体的な内容を以下に記入してください)

【記入例】ドイツ語:	①	2	3	4	5
語:	1	2	3	4	5
語:	1	2	3	4	5
語:	1	2	3	4	5

裏面へつづく→

7. 履修しているすべての言語についてお答えください。  
(英語以外の言語を4言語以上履修している人は英語と主な3言語に関して記入してください。)

a. 授業外での、語学の平均学習時間を以下から選び、もっとも近いものに○をつけてください。

- 1週間あたり、
- 1 30分未満
  - 2 30分以上1時間未満
  - 3 1時間以上2時間未満
  - 4 2時間以上3時間未満
  - 5 3時間以上5時間未満
  - 6 5時間以上

英	語:	1	2	3	4	5	6
	語:	1	2	3	4	5	6
	語:	1	2	3	4	5	6
	語:	1	2	3	4	5	6

b. 学習時間とは別に、授業外でその言語に触れている時間を以下から選び、もっとも近いものに○をつけてください。(映画を観る、友人と話す、音楽を聴く等)

- 1週間あたり、
- 1 30分未満
  - 2 30分以上1時間未満
  - 3 1時間以上2時間未満
  - 4 2時間以上3時間未満
  - 5 3時間以上5時間未満
  - 6 5時間以上

英	語:	1	2	3	4	5	6
	語:	1	2	3	4	5	6
	語:	1	2	3	4	5	6
	語:	1	2	3	4	5	6

8. 履修しているすべての言語について、大学卒業時までの到達目標を各言語1つ選んで○をつけてください。  
(英語以外の言語を4言語以上履修している人は英語と主な3言語に関して記入ください。)

- 1 単位の修得
- 2 日常会話レベル
- 3 留学先の大学の授業についていけるレベル
- 4 仕事で使えるレベル
- 5 ネイティブレベル

英	語:	1	2	3	4	5
	語:	1	2	3	4	5
	語:	1	2	3	4	5
	語:	1	2	3	4	5

9. 現在履修している言語以外で、在学中に履修したい言語はありますか？(複数回答可)

- |            |               |
|------------|---------------|
| 1 ドイツ語     | 12 アラビア語      |
| 2 フランス語    | 13 タイ語        |
| 3 スペイン語    | 14 ペルシア語      |
| 4 イタリア語    | 15 カンボジア語     |
| 5 中国語      | 16 ビルマ語       |
| 6 コリア語     | 17 トルコ語       |
| 7 ロシア語     | 18 ベトナム語      |
| 8 ポルトガル語   | 19 ヒンディー語     |
| 9 ラテン語     | 20 スワヒリ語      |
| 10 インドネシア語 | 21 日本語        |
| 11 フィリピン語  | 22 履修したい言語はない |

10. 6号館1階にあるLLC(Language Learning Commons)を利用したことがありますか？(複数回答可)

- 1 外国語コミュニケーショングループ・日本語学習サポート制度を利用したことがある
- 2 英語の学習アドバイザー制度を利用したことがある
- 3 初習言語の学習アドバイザー制度を利用したことがある
- 4 ライティングチューター制度を利用したことがある
- 5 TOEIC/TOEFL集中講座・TOEIC模試を受講したことがある
- 6 ReadingマラソンやWriting企画に参加したことがある
- 7 Language Exchangeに参加したことがある
- 8 LLC主催の講演会に参加したことがある
- 9 書籍を借りたことがある
- 10 DVDを視聴したことがある
- 11 LLCの存在は知っているが利用したことはない
- 12 LLCの存在を知らなかった

11. 1年次生の秋学期から履修できる英語の選択科目があります。履修したいと思いますか？

- |                                                                                                                               |   |           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-----------|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1 現在履修している(英文学科・英語学科)</li> <li>2 興味・関心と合致すれば履修したい</li> <li>3 卒業単位となるなら履修したい</li> </ol> | } | → 設問13に進む |
| <ol style="list-style-type: none"> <li>4 履修したくない</li> </ol>                                                                   |   | → 設問12に進む |

12. 設問11で「履修したくない」(4番)と答えた人は、その理由を教えてください。

- 1 必修以外に英語科目を履修するつもりがない
- 2 興味・関心のある科目がない
- 3 専門科目が忙しく、語学まで履修する余裕がない
- 4 その他(具体的な内容を以下に記入してください)

13. 語学科目全般に関する意見・要望があれば、自由にお書きください。

【回答者の内訳】

学部	学科	1年次生	2年次生	3年次生	4年次生以上	不明	総計
神	神	38					38
文	哲	59		1	2		62
	史	74	1				75
	国文	59					59
	英文	72		4		1	77
	ドイツ文	47		1			48
	フランス文	46	1	1			48
	新聞	103	2				105
総合人間	教育	53					53
	心理	48				2	50
	社会	50				1	51
	社会福祉	59	1	2		1	63
	看護	66				1	67
法	法律	142	3			1	146
	国際関係法	86				1	87
	地球環境法	68	1	1			70
経済	経済	138				1	139
	経営	135		2		2	139
外国語	英語	177	1			1	179
	ドイツ語	60				1	61
	フランス語	61	1		1		63
	イスパニア語	59	2				61
	ロシア語	49					49
	ポルトガル語	52	1				53
総合グローバル	総合グローバル	180	2			4	186
理工	物質生命理工	113					113
	機能創造理工	110				2	112
	情報理工	125				1	126
不明	不明					4	4
	計	2,329	16	12	3	24	2,384

・Academic Communication 1 (AC1)を履修していない国際教養学部、理工学部(英語コース)は本調査の対象外。  
 ・英文学科、英語学科もAC1は必修ではないが、初習言語を必修科目として履修するため、別途アンケートを実施し、分析に加えた。  
 ・昨年度までにAC1を未修得の学生で、再履修中の2年次生以上を含む。

【設問1】 あなたが英語以外で必修、選択必修科目として履修している言語に1つだけ○をつけてください。

1-1 必修、選択必修としての言語別履修者数

言語	人数	割合
中国語	303	12.7%
イスパニア語	291	12.2%
フランス語	216	9.1%
ドイツ語	151	6.3%
コリア語	110	4.6%
イタリア語	42	1.8%
日本語	14	0.6%
ロシア語	6	0.3%
インドネシア語	6	0.3%
ラテン語	3	0.1%
アラビア語	2	0.1%
ポルトガル語	1	0.0%
フィリピン語	1	0.0%
履修していない	7	0.3%
無回答	1,231	51.6%
<b>合計</b>	<b>2,384</b>	<b>100.0%</b>

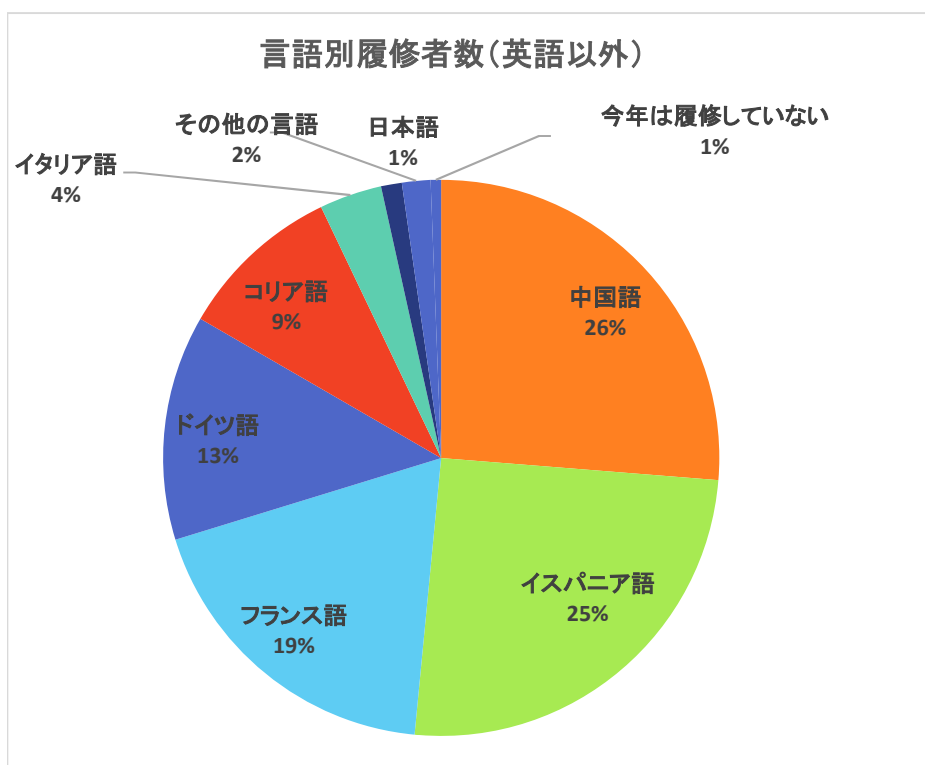
必修、選択必修としての 初習言語履修者	
回答数	割合
1,146人	48.1%

- \*「無回答」が多くなっているが、これはほとんどが初習言語の履修が必要ない学科の学生である。
- \*「履修していない」は、初習言語の履修が必要だが、今学期(2019年春学期)は履修していない学生を指す。

・アンケートに回答した者のうち、必修、選択必修として何らかの初習言語を履修している割合は、約半数(48.1%)。  
 ・英語を除く語学科目21言語のうち、必修、選択必修として履修できる(4単位以上のクラスがある)言語は17言語。そのうち2019年度は、13の初習言語に登録しているという回答があった。授業のコマ数が少ない科目は、時間割の都合上、必修・選択必修としては選ばれていないと考えられる。

【設問1】 あなたが英語以外で必修、選択必修科目として履修している言語に1つだけ○をつけてください。  
 1-2 必修、選択必修としての言語履修者の言語別内訳(降順)

言語	人数	割合
中国語	303	26.3%
スペイン語	291	25.2%
フランス語	216	18.7%
ドイツ語	151	13.1%
韓国語	110	9.5%
イタリア語	42	3.6%
日本語	14	1.2%
その他の言語	19	1.6%
今年は履修していない	7	0.6%
合計	1,153	100.0%



n=1,153

- ・履修者数は、中国語、スペイン語、フランス語、ドイツ語の順に多く、この4言語で、必修、選択必修としての初習言語履修者の8割強(83%)を占める。
- ・韓国語、イタリア語がこれに続き、上位6言語で、必修、選択必修としての初習言語履修者のほとんど(97%)を占める。
- ・この6言語はコマ数が多く、時間割が学科の必修科目と重ならないブロックに配置されているため、履修しやすいと考えられる。



【設問1】 あなたが英語以外で必修、選択必修科目として履修している言語に1つだけ○をつけてください。

1-3 学科別履修言語(英語以外)

学部	学科	ドイツ語	フランス語	イスパニア語	イタリア語	中国語	ロシア語	ロシア語	ポルトガル語	ラテン語	インドネシア語	フィリピン語	アラビア語	日本語	履修合計	履修していない	無回答	合計	
神	神★	3	5	12	2	6	7				2				37	1		38	
文	哲★	30	18							3					51	1	10	62	
	史★	18	20	7	3	16	6	2					1		73		2	75	
	国文																59	59	
	英文★	8	23	16	5	15	6	2							75	2		77	
	ドイツ文																48	48	
	フランス文																48	48	
	新聞★	7	14	27	3	38	14				1		1		105			105	
総人	教育																53	53	
	心理★	13	3	11	2	5	16								50			50	
	社会																51	51	
	社会福祉																63	63	
	看護																67	67	
法	法律★	15	20	29	4	54	16	1			3			2	144		2	146	
	国際関係法★	13	21	28	4	13	5	1						2	87			87	
	地球環境法★	7	6	26		21	7								67		3	70	
経済	経済★	9	20	36	9	49	10							4	137	2		139	
	経営★	16	20	36	3	51	7		1				1	4	139			139	
外国語	英語★	12	44	61	7	35	16					1		1	177	1	1	179	
	ドイツ語																61	61	
	フランス語																63	63	
	イスパニア語																61	61	
	ロシア語																49	49	
	ポルトガル語																53	53	
総グ	総合グローバル																186	186	
理工	物質生命理工																	113	113
	機能創造理工																	112	112
	情報理工																	126	126
不明	不明		2	2											4			4	
		151	216	291	42	303	110	6	1	3	6	1	2	14	1,146	7	1,231	2,384	

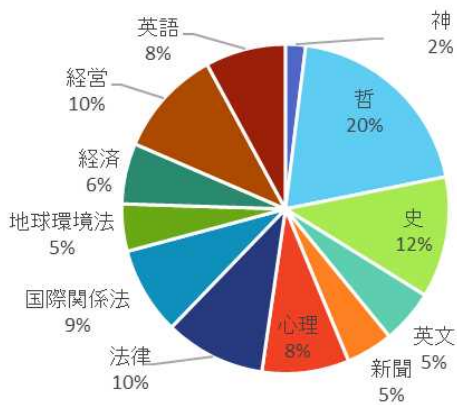
★は初習言語の履修が必要な学科。

・初習言語の履修が必要な学科であっても、今学期履修していない学生が若干いる。  
 ・「無回答」はほとんどが履修の必要がない学生だが、履修が必要な学生の中にも回答していない者がいる。

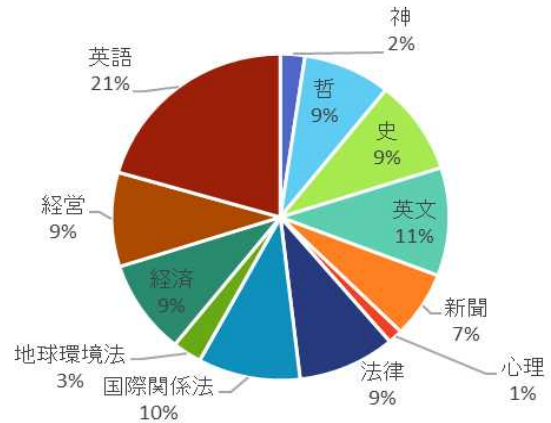
【設問1】 あなたが英語以外で必修、選択必修科目として履修している言語に1つだけ○をつけてください。

1-4 主要6言語の履修者学科別内訳

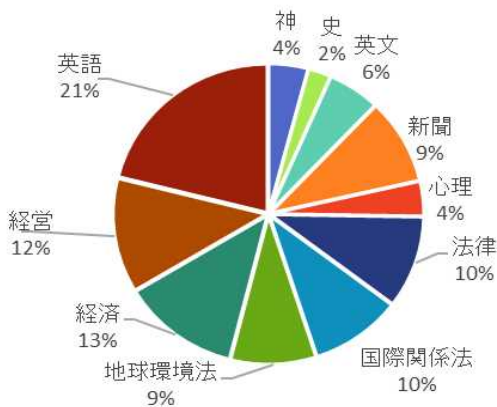
ドイツ語 n=151



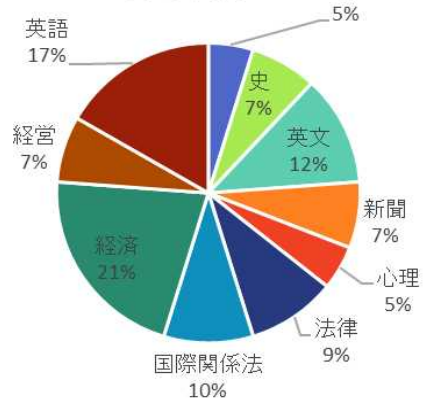
フランス語 n=214



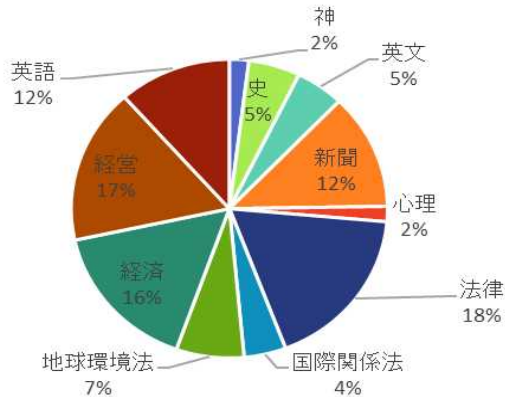
スペイン語 n=289



イタリア語 n=42



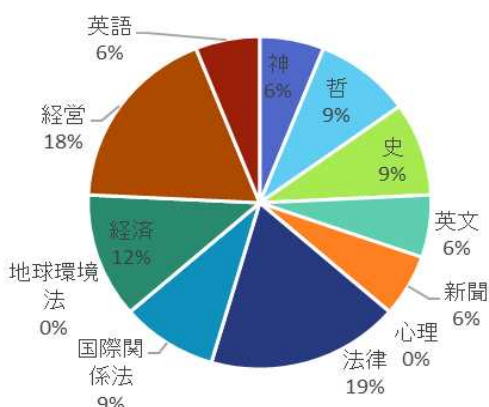
中国語 n=303



ロシア語 n=110



その他の言語 n=33

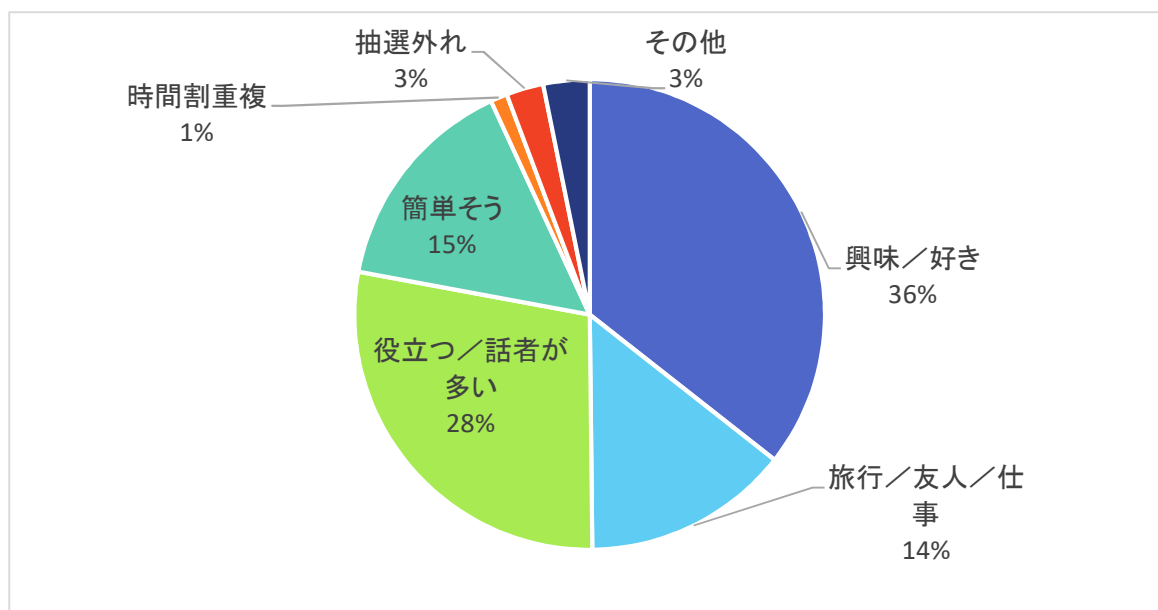


・言語によって、履修者の学科別内訳に差がみられる。  
 ・中国語では、法律、経営、経済学科の割合が高く、この3学科で、履修者の51%を占める。  
 ・スペイン語では、英語、経済、経営学科、フランス語では、英語と英文学科、ドイツ語では、哲と史学科、ロシア語では、心理と法律学科、イタリア語では経済と英語、英文学科の割合が他の言語に比べて高くなっている。

【設問2】あなたがこの言語を必修、選択必修科目として選んだ理由は何ですか？もっとも当てはまる理由を1つ選んで○をつけてください。

2-1履修動機(全体)

履修言語別 履修動機	言語、国、 社会、文化等に興 味がある ／好きだ から	旅行したい ／友人と話 したい／そ の国で仕 事をしたい から等	専攻の学 習や仕事 に役に立 つ／話者 が多いか ら等	簡単そう ／勧めら れた／友 達が選ん だから等	他科目と 時間割が 重複して 希望の言 語が履修 できなかつ たから	希望の言 語の抽選 に外れ、 履修でき なかつた から	その他	合計
ドイツ語	63	18	37	9	3	14	5	149
フランス語	103	32	50	7	2	7	12	213
イスパニア語	86	49	82	61	3	2	5	288
イタリア語	17	11	3	2	1	4	4	42
中国語	67	28	134	61	4	1	5	300
ロシア語	4	2						6
ポルトガル語						1		1
ラテン語			1				2	3
インドネシア語	1	2		2			1	6
フィリピン語	1							1
アラビア語	2							2
日本語	1		9	2			2	14
計	403	161	318	172	13	29	36	1,132

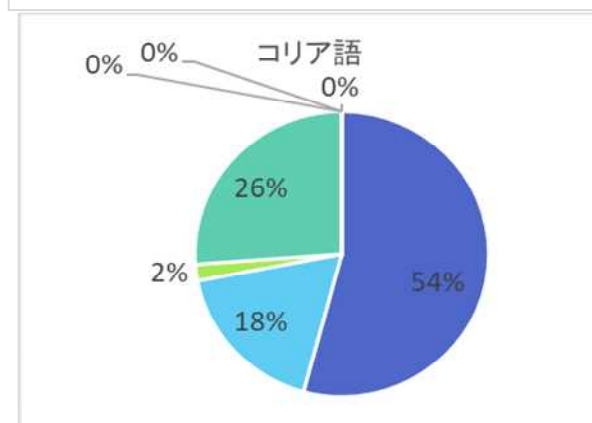
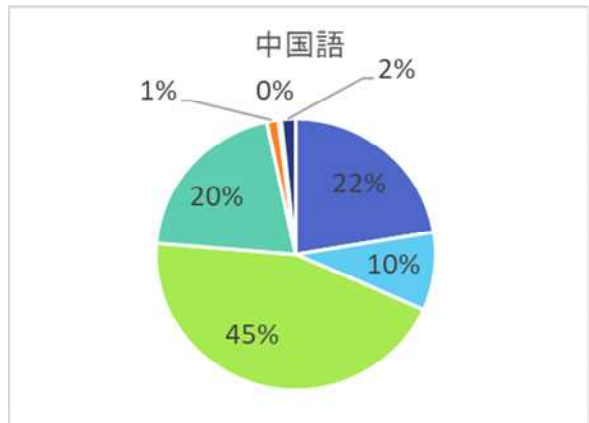
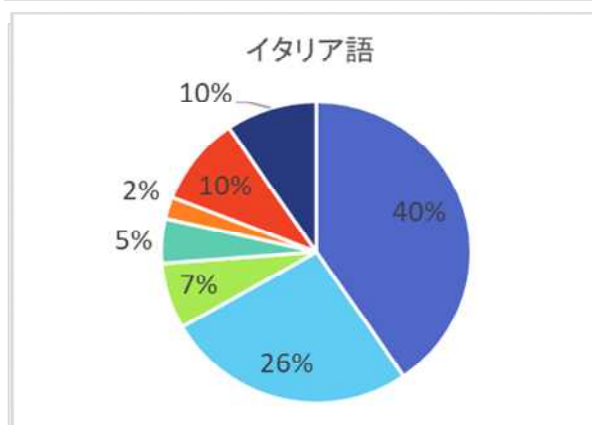
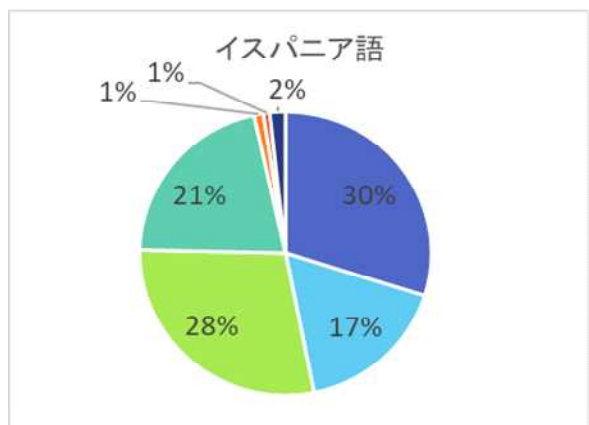
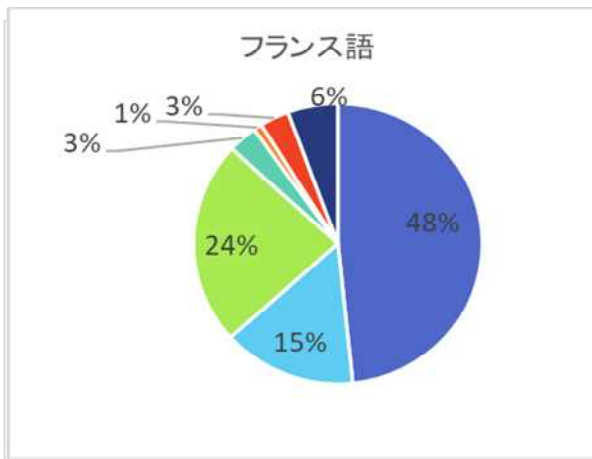
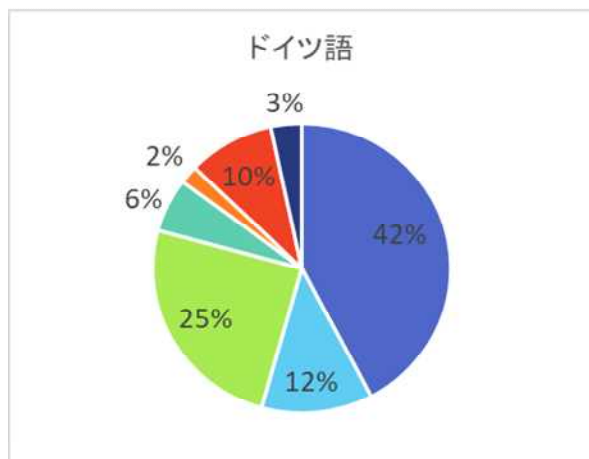


・必修、選択必修として言語を選ぶ際に、最も多くの学生(36%)が「言語、国、社会、文化等に興味がある／好きだから」という理由をあげている。  
 ・「旅行したい／友人と話したい／その国で仕事をしたいから等」を理由に挙げている学生(14%)を加えると、半数(50%)の学生が、その国や言語が好き、もしくはその言語を使って何かしたいという**積極的な理由**で言語を選んでいることがわかる。  
 ・また、「専攻の学習や仕事に役に立つ／話者が多いから等」という、**実利的な理由**をあげている学生(28%)も多  
 いる。  
 ・「簡単そう／勧められた／友達が選んだから等」といった、**消極的な理由**で言語を選んでいる学生(15%)は比較  
 的少ないことがわかった。

【設問2】あなたがこの言語を必修、選択必修科目として選んだ理由は何ですか？もっとも当てはまる理由を1つ選んで○をつけてください。

2-2 履修動機(言語別)

1	言語、国、社会、文化等に興味がある／好きだから
2	旅行したい／友人と話したい／その国で仕事をしたいから等
3	専攻の学習や仕事に役に立つ／話者が多いから等
4	簡単そう／勧められた／友達が選んだから等
5	他科目と時間割が重複して希望の言語が履修できなかったから
6	希望の言語の抽選に外れ、履修できなかったから
7	その他

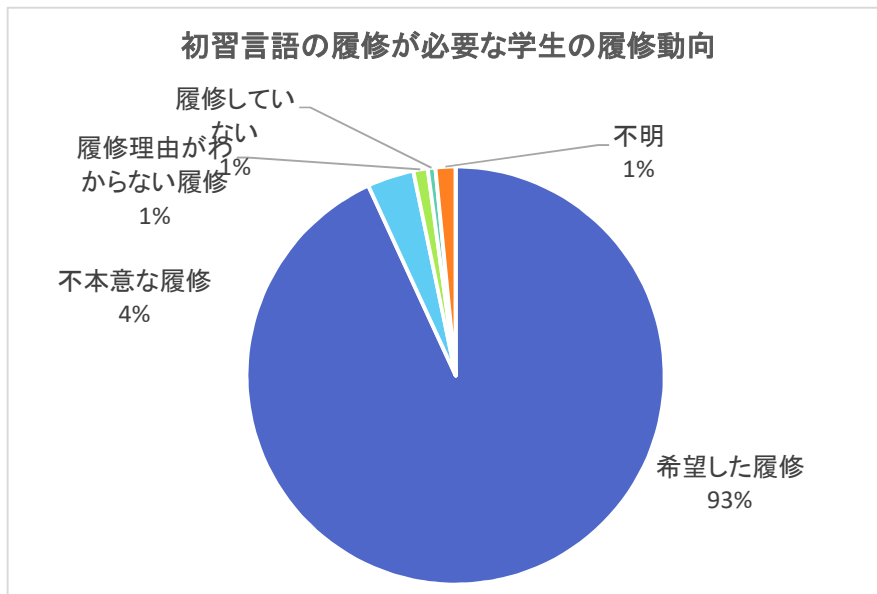


・ドイツ語、フランス語、イタリア語、韓国語に関しては、その言語や国への興味から履修している学生が多いことがわかる。特に韓国語で顕著である。  
 ・イタリア語は、「旅行したい／友人と話したい／その国で仕事をしたいから等」を選択した学生が他の言語に比べて圧倒的に多く、世界遺産数世界一である観光国の特徴が出ていると言える。  
 ・「専攻の学習や仕事に役に立つ／話者が多いから等」は、中国語で圧倒的に多く、イスパニア語がそれに続く。実際に話者数が少ない韓国語、イタリア語では非常に少なくなっている。  
 ・「簡単そう／勧められた／友達が選んだから等」は韓国語、イスパニア語、中国語の順に多く、逆に、ドイツ語、フランス語、イタリア語では少なくなっている。

【設問2】あなたがこの言語を必修、選択必修科目として選んだ理由は何ですか？もっとも当てはまる理由を1つ選んで○をつけてください。

2-3 初習言語の履修が必要な学生の履修動機(学科別)

学科	希望した履修					希望した履修	不本意な履修			不明	履修していない	不明	合計
	言語、国、社会、文化等に興味がある／好きだから	旅行したい／友人と話したい／その国で仕事をしたいから等	専攻の学習や仕事に役立つ／話者が多いから等	簡単そう／勧められた／友達を選んだから等	その他		他科目と時間割が重複して希望の言語が履修できなかったから	希望の言語の抽選に外れ、履修できなかったから	不本意な履修				
神	15	8	4	7	2	36			0	1	1		38
哲	16	4	20	5	4	49	1		1	1	1	10	62
史	21	3	40	3	3	70	2		2	1		2	75
英文	38	7	18	8	3	74			0	1	2		77
新聞	35	24	26	15	3	103			0	2			105
心理	12	9	12	12	2	47	3		3	0			50
法律	53	15	39	28	5	140	1	1	2	2		2	146
国際関係法	34	18	22	10	1	85	1	1	2	0			87
地球環境法	22	11	11	16	1	61	1	3	4	2		3	70
経済	41	19	36	22	8	126	1	10	11	0	2		139
経営	33	22	38	29		122	2	14	16	1			139
英語	82	20	51	17	4	174	1		1	2	1	1	179
	402	160	317	172	36	1,087	13	29	42	13	7	18	1,167



\* 2-1(p10)の合計と数が合わないのは、2-3(P12)では所属不明の学生の数が反映されていないため。

- ・初習言語の履修が必要な学生のうち、93%の学生が希望した言語を履修している。2015年度の88.3%より5ポイント上がった要因は、2019年度から始まったブロック制により、主要6言語と学科の必修科目との重複がなくなったためと考えられる。
- ・時間割重複を理由としている学生(13人)は、ブロック制になっていない開講数の少ない言語の履修希望者と考えられる。
- ・また29名の学生が、抽選に外れて希望言語が履修できなかったため、別の言語を履修したと答えている。

【設問2】あなたがこの言語を必修、選択必修科目として選んだ理由は何ですか？もっとも当てはまる理由を1つ選んで○をつけてください。

2-3 自由記述

ドイツ語	サッカー観戦のため
ドイツ語	好きな哲学者がドイツ人に多い
ドイツ語	以前住んでいた、留学していたから(複数回答)
ドイツ語	語学を始めるキッカケは何でもよかったので選択肢の一番上にあるドイツ語を選んだ
フランス語	中学・高校で勉強したことがある(複数回答)
フランス語	ドイツ語をやりたくなかったから。
フランス語	フェンシング用語でフランス語を使うから。
フランス語	将来のゼミで必要そうだったから
フランス語	ワールドカップで優勝したから
フランス語	カッコいいから(複数回答)
フランス語	フランス文学のレミゼラブルの映画を見て興味を持った
イスパニア語	話者人口が他言語よりも多く広範囲に渡っていたため
イスパニア語	自分が話せる言語(フランス語)に似ているから。
イスパニア語	教会のスペイン語礼拝に参加したいから
イスパニア語	おもしろそうだったから
イスパニア語	他の言語(イタリア、フランス等ラテン系)に広げやすいと思ったから
イスパニア語	発音がセクシーでイタリア語に似ているから
イタリア語	希望者が少なく、抽選がなさそうだったから
イタリア語	ラテン語学習の前段階になるから。
イタリア語	名前の由来がイタリアだったり、知り合いがイタリア系だったりと親近感を感じたから
イタリア語	高校で学んでいたから
中国語	話者が多いから
中国語	実用的だと思った
中国語	将来役に立つと思ったから
中国語	希望のゼミに入るのに必要だから
中国語	日本国内で使用して活用することができそうな言語だったから
中国語	カッコいいから
ラテン語	何となくやってみたいと思ったから
ラテン語	英語の古典にあたる言語だから
インドネシア語	父親がインドネシア人だから
日本語	留学生として、日本語力を上げたい一方で、日本語でレポートとリアペの書き方を勉強したいため
日本語	日本語をもっと上手になりたから



【設問3】 設問2で「希望の言語が履修できなかった」(5番、6番)と答えた人は、履修したかった言語は何語ですか？  
(複数回答可)

5. 他科目と時間割が重複して希望の言語が履修できなかったから。  
6. 希望の言語の抽選に外れ、履修できなかったから。

言語別

言語	人数	割合
イスパニア語	18	37.5%
中国語	9	18.8%
コリア語	9	18.8%
インドネシア語	4	8.3%
ドイツ語	2	4.2%
フランス語	2	4.2%
ロシア語	2	4.2%
フィリピン語	1	2.1%
アラビア語	1	2.1%
イタリア語	0	0.0%
ポルトガル語	0	0.0%
ラテン語	0	0.0%
タイ語	0	0.0%
ペルシア語	0	0.0%
カンボジア語	0	0.0%
スワヒリ語	0	0.0%
日本語	0	0.0%
計	48	100.0%

5,6と答えた人数は42名(複数回答可なので48名)

学科別

学部	学科	回答数
文	哲	1
	史	2
総合人間 法	心理	3
	法律	2
	国際関係法	2
法	地球環境法	4
	経済	11
	経営	16
外国語	英語	1
		42

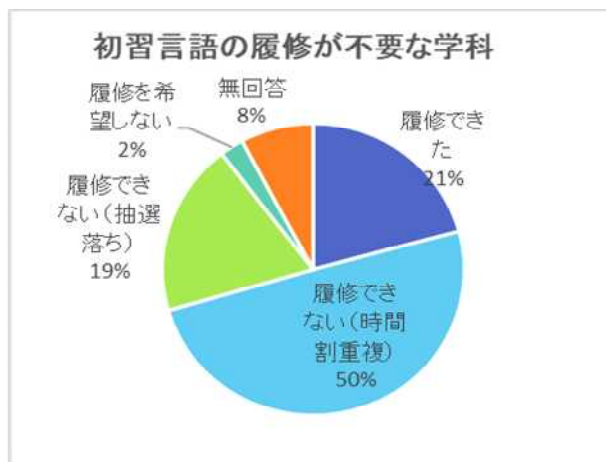
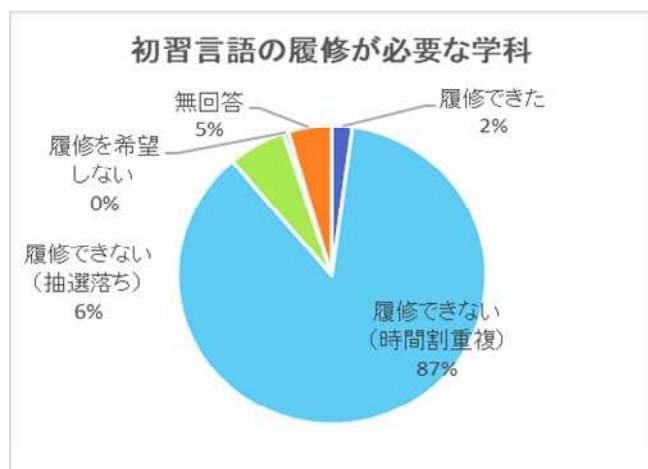
- ・初習言語の履修が必要な回答者1,167人のうち、希望言語に登録できなかったのは42人(3.6%)で、2015年度調査の195人(8.1%)より減少した。
- ・ブロック制にして、選択必修としての語学科目は履修登録しやすくなったと考えられるが、依然希望言語に登録できなかった学生も存在する。特に言語ではイスパニア語、学科では経済・経営学科で多くなっている。

【設問4】必修、選択必修としてではなく、選択科目として履修している言語はありますか？

4-1 選択科目履修状況(学科別)

学部	学科	はい	他科目と時間割が重複して履修できなかった	希望の言語に空席がなく、履修できなかった	履修を希望しなかった	無回答	総計
神	神★	1	31	2		4	38
文	哲★	3	50	8		1	62
	史★		66	6		3	75
	国文	6	15	32	1	5	59
	英文★	2	70		1	4	77
	ドイツ文	16	20	7	2	3	48
	フランス文		27	16	1	4	48
	新聞★	1	97	3		4	105
総人	教育	5	25	12	3	8	53
	心理★		47	2		1	50
	社会	21	18	8	2	2	51
	社会福祉	3	23	17	13	7	63
	看護	24	29	10		4	67
法	法律★	3	133	3	1	6	146
	国際関係法★	2	72	7	1	5	87
	地球環境法★	2	62	4		2	70
経済	経済★	2	121	10		6	139
	経営★	4	120	9	2	4	139
外国語	英語★	5	143	17	1	13	179
	ドイツ語	5	43	5	1	7	61
	フランス語	7	35	15	1	5	63
	イスパニア語	3	45	6	1	6	61
	ロシア語	5	31	10		3	49
	ポルトガル語	4	47			2	53
総グ	総合グローバル	146	29	6	2	3	186
理工	物質生命理工	2	56	34	2	19	113
	機能創造理工	3	77	20	1	11	112
	情報理工	2	83	34	1	6	126
不明	不明		3			1	4
	計	277	1,618	303	37	149	2,384

★は初習言語の履修が必要な学科。



・選択科目として初習言語を履修しているのは277名(12%)  
 ・初習言語の履修が必要な学科で、選択科目の履修が「時間割の関係でできない」とした学生が多いのは、すでに必修・選択必修で語学を履修中のため、他の科目の履修を優先したと考えられる。またブロック制により同じブロック内にある言語が履修できなくなるケースもあり、1年生の時点での第3外国語の履修が難しい状況が窺える。  
 ・履修が不要な学科で「時間割の関係でできない」とした学生についても、ブロック制で時間割は確保(学科の必修科目と重ならないように配置)されているので、①他の科目の履修を優先した ②自ブロックでは空席がなかった の2つの理由が混在していると考えられる。



【設問4】必修、選択必修としてではなく、選択科目として履修している言語はありますか？

4-2 選択科目履修状況(初習言語の履修が不要の学科のみ)

学科	履修希望者								
	はい	履修できなかった			履修希望者計	履修を希望しなかった	無回答	希望者のうち履修できなかった%	希望者のうち空席なしの%
		他科目と時間割が重複して履修できなかった	希望の言語に空席がなく、履修できなかった	履修できなかった計					
国文	6	15	32	47	53	1	5	89%	60%
ドイツ文	16	20	7	27	43	2	3	63%	16%
フランス文		27	16	43	43	1	4	100%	37%
教育	5	25	12	37	42	3	8	88%	29%
社会	21	18	8	26	47	2	2	55%	17%
社会福祉	3	23	17	40	43	13	7	93%	40%
看護	24	29	10	39	63		4	62%	16%
ドイツ語	5	43	5	48	53	1	7	91%	9%
フランス語	7	35	15	50	57	1	5	88%	26%
イスパニア語	3	45	6	51	54	1	6	94%	11%
ロシア語	5	31	10	41	46		3	89%	22%
ポルトガル語	4	47	0	47	51		2	92%	0%
総合グローバル	146	29	6	35	181	2	3	19%	3%
物質生命理工	2	56	34	90	92	2	19	98%	37%
機能創造理工	3	77	20	97	100	1	11	97%	20%
情報理工	2	83	34	117	119	1	6	98%	29%
合計	252	603	232	835	1,087	31	95	77%	21%

・選択科目の履修希望者のうち、空席がなく履修できなかった割合は平均21%。2015年度調査の45%より改善したのは、ブロック制の効果と考えられる。

・特に初習言語の履修希望者が多い総合グローバル学科の「空席なし」は3%で、2015年度調査で希望言語が履修できなかった割合20%から大きく改善された。

・履修できなかった理由として他科目との時間割重複を理由とする学生が相当数いるが、ブロック内に入っている主要6言語と学科の必修科目の時間割の重複はないため、①ブロック外の言語の履修を希望していた ②言語以外の科目の履修を優先した の原因が考えられる。

・理工学部についてはブロックと学科科目の重複があり、時間割重複を履修できなかった理由に挙げる割合が多い。

【設問5】あなたが英語以外に選択科目として履修している言語すべてに○をつけてください。（複数回答可）

5-1 選択科目として履修している言語（学科別）

学部	学科	ドイツ語	フランス語	イスパニア語	イタリア語	中国語	ロシア語	ポルトガル語	ラテン語	インドネシア語	フィリピン語	アラビア語	タイ語	ペルシア語	カンボジア語	ビルマ語	トルコ語	ベトナム語	ヒンディー語	スワヒリ語	日本語	合計	
神	神																				1	1	
文	哲	1		1					1													3	
	史																						0
	国文		2					2	2														6
	英文			1										1									2
	ドイツ文		3	7	2		2					1											15
	フランス文																						0
	新聞		1		1							1											3
総人	教育			2		1	1					1										5	
	心理																						0
	社会	6	5	3	1	4	2															21	
	社会福祉	1					3														1	5	
	看護	3	10			5	5				1											24	
法	法律	1	2																				3
	国際関係法						1		1														2
	地球環境法							1								1							2
経済	経済		1																		1	2	
	経営		2				1	1														4	
外国語	英語	1					1		1			1						1			1	6	
	ドイツ語		1	1		1	1		1		1											6	
	フランス語		1	3	2		2									1	1				1	11	
	イスパニア語				2		1															3	
	ロシア語	1					2							1			1					5	
	ポルトガル語				1		3															4	
総グ	総合グローバル	12	36	24	4	30	11			14	8	11	5		1		2		1	4		163	
理工	物質生命理工	1				1																2	
	機能創造理工							1		1						1		1				4	
	情報理工					1		1														2	
	計	27	64	42	13	43	36	6	1	5	15	10	14	6	2	1	3	4	2	1	5	4	304

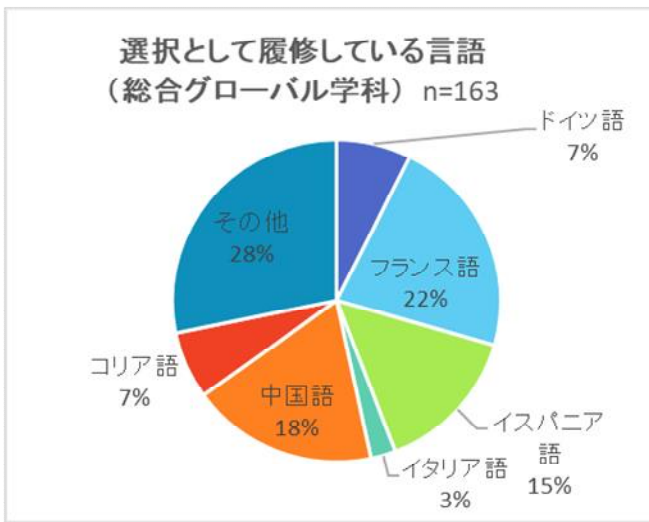
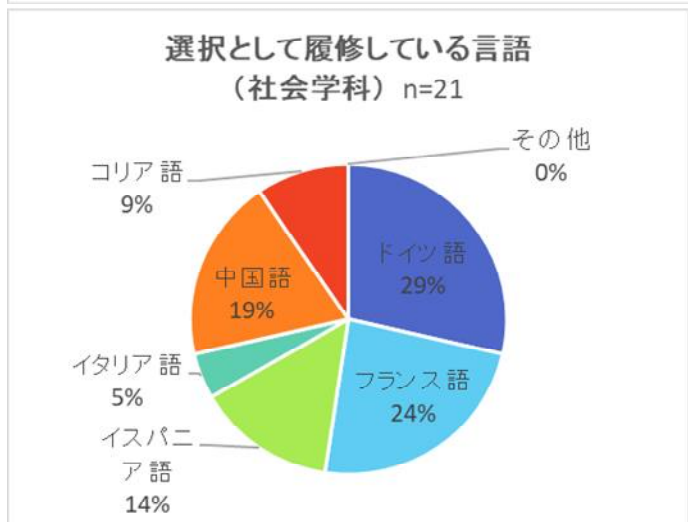
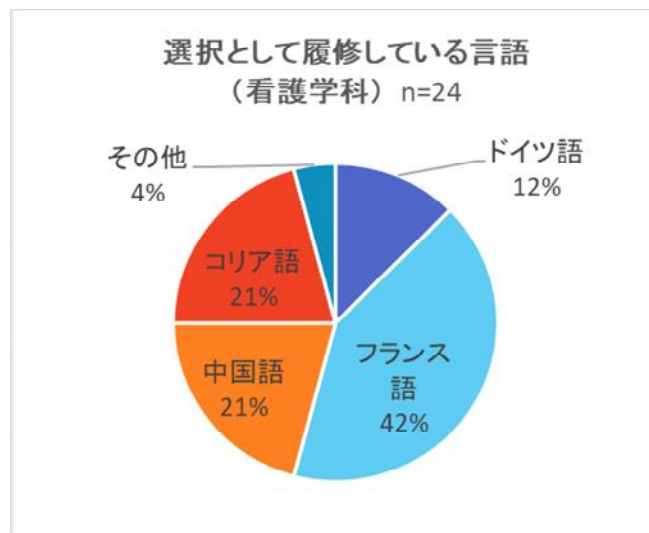
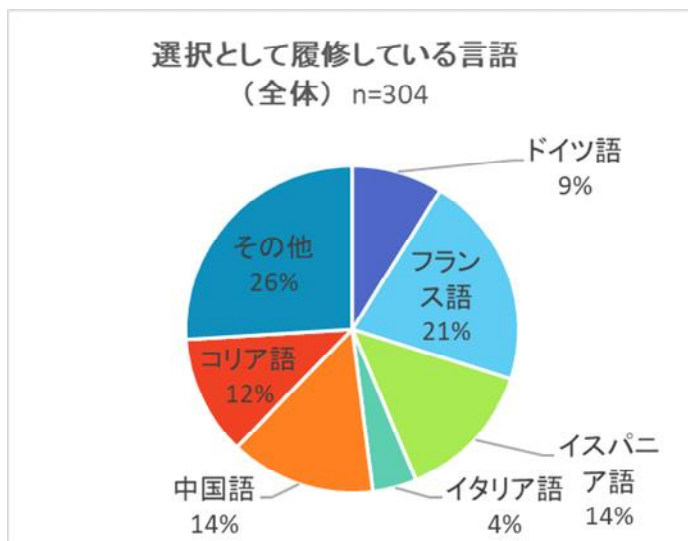
- ・総合グローバル学部の履修者数の多さと、履修言語の多様さが目立つ。
- ・社会学科、看護学科も選択科目としての履修者が多い。

【設問】あなたが英語以外に選択科目として履修している言語すべてに○をつけてください。(複数回答可)

5-2 選択科目として履修している言語(言語別)

言語	人数
フランス語	64
中国語	43
イスパニア語	42
コリア語	36
ドイツ語	27
イタリア語	13
その他	79
<b>計</b>	<b>304</b>

履修言語数	人数
0	2,107
1	254
2	20
3	2
4	1
<b>計</b>	<b>2,384</b>



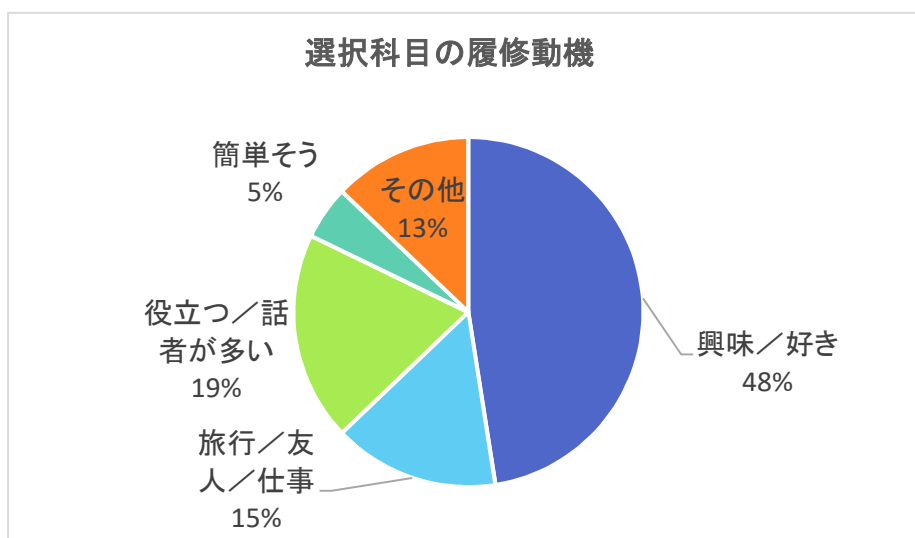
・選択科目として履修している言語は多い順に、フランス語、中国語、イスパニア語、コリア語、ドイツ語となっている。必修、選択必修としての言語の順位と異なるのが興味深い。これは、総合グローバル、看護学科といった、選択としてしか初習言語を履修できない学科において、フランス語の履修率が高くなっていることが影響していると言える。

・選択科目の場合、主要6言語の占める割合は7割(74%)で、必修、選択必修の場合(97%)と大きく異なる。3割(26%)が主要6言語以外(その他の言語)を選択しているが、これは、選択として履修している延べ304人中、総合グローバル学部の学生が半数以上(163人)を占めていることが影響していると思われる。また、少数ながら第3、第4外国語を自由に選択している様子もうかがえる。

【設問6】 あなたがこの言語を選択科目として選んだ理由は何ですか？もっとも当てはまる理由を各言語1つ選んで○をつけてください。（4言語以上履修している方は主な3言語に関して記入してください。）

6-1 言語全体

言語	言語、国、社会、文化等に興味がある／好きだから	旅行したい／友人と話したい／その国で仕事をしたいから等	専攻の学習や仕事に役立つ／話者が多いから等	簡単そう／勧められた／友達を選んだから等	その他	総計
ドイツ語	15	4	3		4	26
フランス語	17	7	6		8	38
イスパニア語	9	6	7	1	4	27
イタリア語	5	3			1	9
中国語	4	6	12		4	26
ロシア語	18		2	1	1	22
ポルトガル語	1				2	3
ラテン語					1	1
ラテン語	1		1		1	3
インドネシア語	3	1	3	3		10
フィリピン語	3	2		1		6
アラビア語	9		1	1		11
タイ語	4					4
ペルシア語	2					2
カンボジア語			1			1
ビルマ語	2					2
トルコ語		1		2		3
ベトナム語		1				1
ヒンディー語	1					1
スワヒリ語	2		1	1		4
日本語			2			2
総計	96	31	39	10	26	202



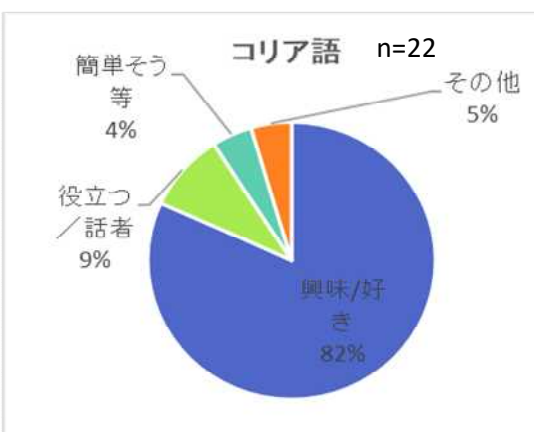
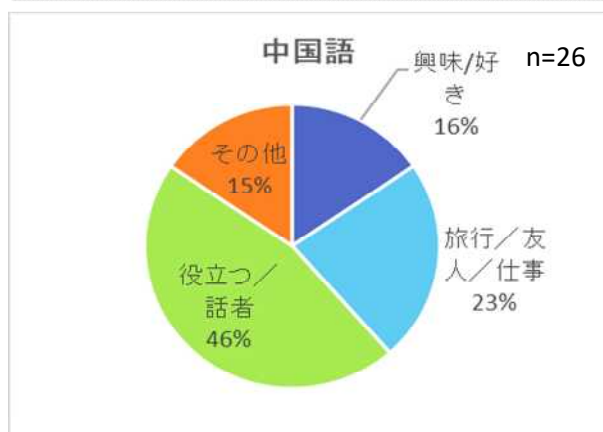
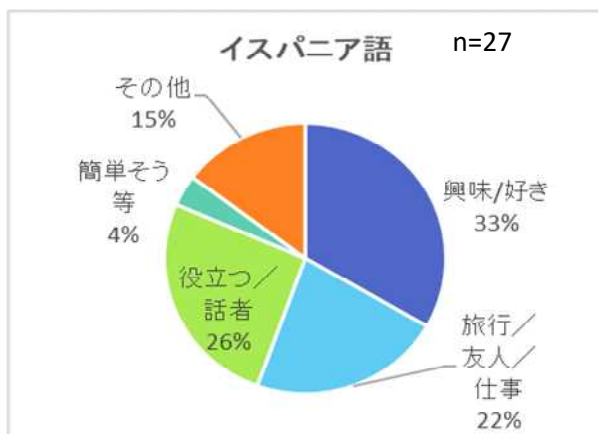
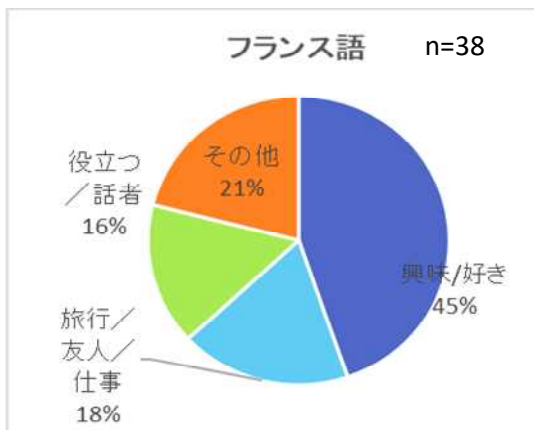
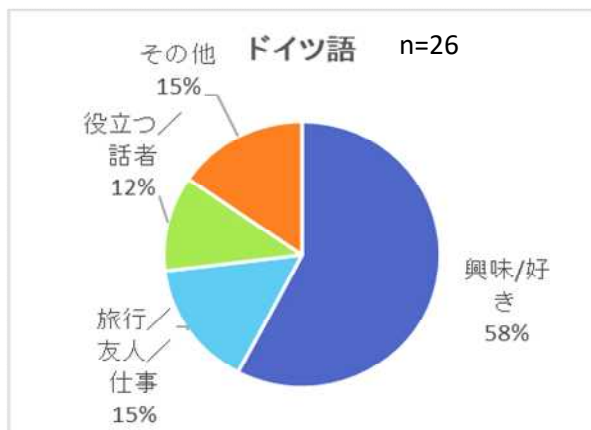
・選択科目として言語を履修している場合、半数近く(48%)の学生はその言語や国等に興味があったり、好きであることが履修の理由となっている。必修、選択必修科目として履修している場合は36%であったことから、選択科目は自分の好みや興味で履修する割合がより高くなることがわかる。

・「専攻の学習や仕事に役立つ／話者が多いから等」(19%)、「簡単そう／勧められた／友達を選んだから等」(5%)といった、実利的、あるいは消極的な理由で言語を選んでいる学生は、必修、選択必修の場合(それぞれ28%、15%)より少なくなっている。

【設問6】 あなたがこの言語を選択科目として選んだ理由は何ですか？もっとも当てはまる理由を各言語1つ選んで○をつけてください。（4言語以上履修している方は主な3言語に関して記入してください。）

6-2 言語別

言語、国、社会、文化等に興味がある／好きだから
旅行したい／友人と話したい／その国で仕事をしたいから等
専攻の学習や仕事に役に立つ／話者が多いから等
簡単そう／勧められた／友達を選んだから等
その他

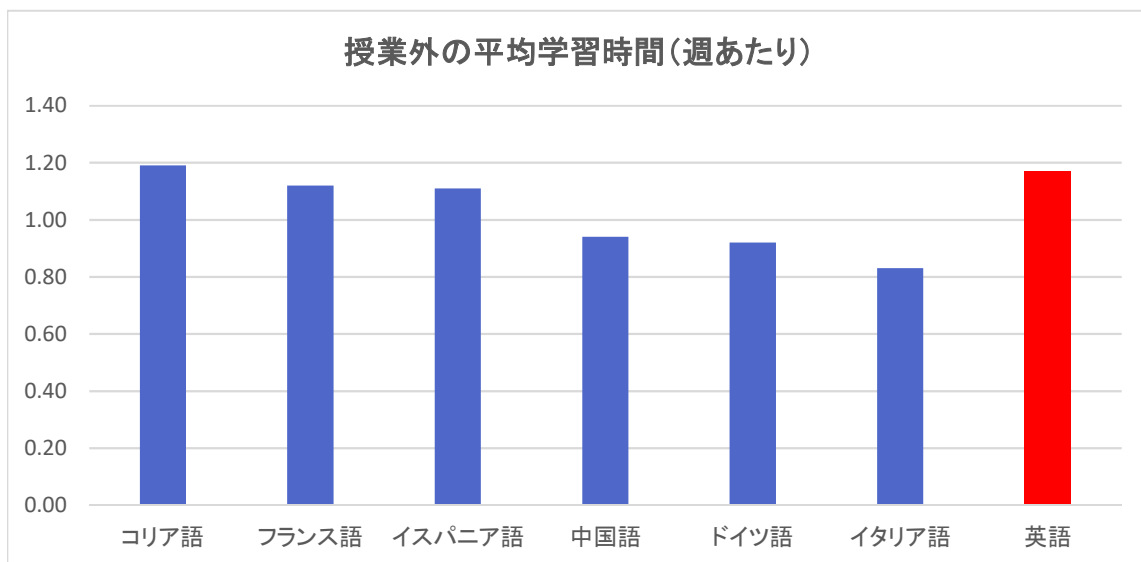


・コリア語の場合は8割が「言語、国、社会、文化等に興味がある／好きだから」を履修の理由にあげている。イタリア語、ドイツ語、フランス語も半数前後の学生が同じ理由をあげている。  
 ・中国語は逆の傾向があり、「専攻の学習や仕事に役に立つ／話者が多いから等」を理由にあげている学生が半数近く(46%)おり、中国語や中国に対する興味は16%と少ない。  
 ・イスパニア語は、「言語、国、社会、文化等に興味がある／好きだから」が最も多くなっているが、「旅行したい／友人と話したい／その国で仕事をしたいから等」、「専攻の学習や仕事に役に立つ／話者が多いから等」、「その他」にバランスよく別れている。  
 ・選択科目であるため、「簡単そう／勧められた／友達を選んだから等」の理由を選ぶ学生はほとんどいなかった。

【設問7】履修しているすべての言語についてお答えください。  
 (英語以外の言語を4言語以上履修している人は英語と主な3言語に関して記入してください。)  
 a. 授業外での、語学の平均学習時間を以下から選び、もっとも近いものに○をつけてください。

言語	時間	回答者数
韓国語	1.19	140
フランス語	1.12	267
スペイン語	1.11	324
中国語	0.94	331
ドイツ語	0.92	177
イタリア語	0.83	51
英語	1.17	2,128

その他の言語内訳言語	時間	回答者数
インドネシア語	0.90	21
スワヒリ語	0.83	6
フィリピン語	0.82	11
カンボジア語	0.75	1
ベトナム語	0.75	1
ヒンディー語	0.75	1
ビルマ語	0.50	2
タイ語	0.25	5
ペルシア語	0.25	2
ポルトガル語	3.13	2
ラテン語	1.64	7
トルコ語	1.33	3
ロシア語	1.31	12
アラビア語	1.00	14



\* 30分未満は15分、30分以上1時間未満は45分、1時間以上2時間未満は90分、2時間以上3時間未満は150分、3時間以上5時間未満は240分、5時間以上は360分として計算し、平均時間数を出した。  
 \* それぞれの言語の専攻学科の学生は除いて算出した。

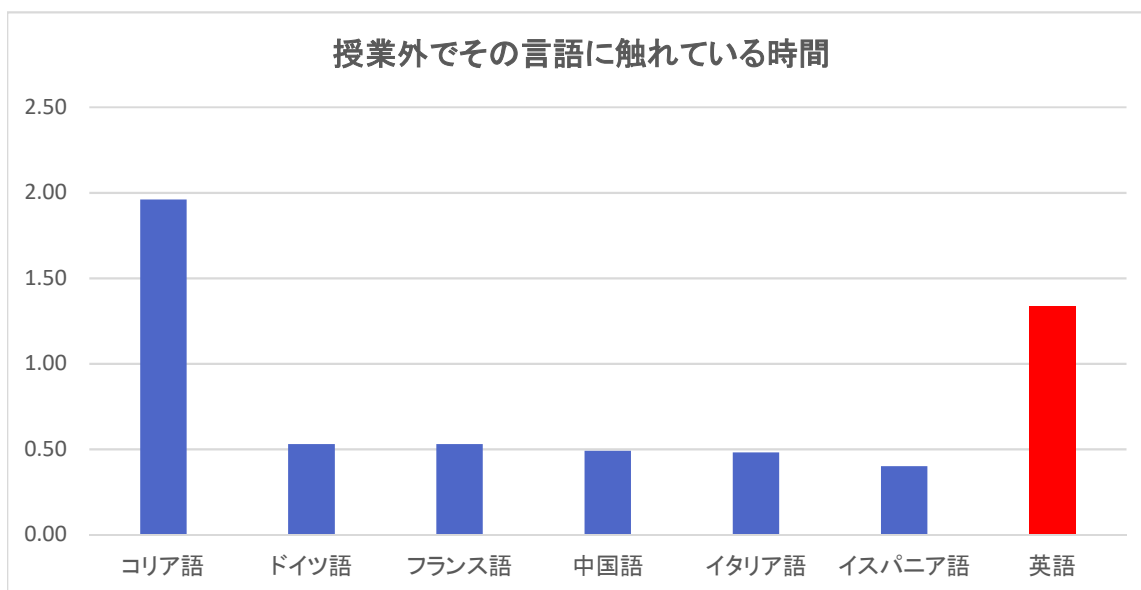
・主要6言語では、韓国語の学習時間が最も長かった。言語の履修動機に、「言語、国、社会、文化等に興味がある／好きだから」を挙げたのは、必修、選択必修(54%)、選択(82%)共に、韓国語が最も多かったことと無関係ではないかもしれない。  
 ・初習言語の学習にあてている時間は、英語の学習時間とほぼ同等か、少し少ない時間であるという実態が明らかになった。

【設問7】履修しているすべての言語についてお答えください。(英語以外の言語を4言語以上履修している人は英語と主な3言語に関して記入してください。)

b. 学習時間とは別に、授業外でその言語に触れている時間を以下から選び、もっとも近いものに○をつけてください。

(映画を観る、友人と話す、音楽を聴く等)

言語	時間	回答者数
韓国語	1.96	147
ドイツ語	0.53	173
フランス語	0.53	250
中国語	0.49	325
イタリア語	0.48	50
スペイン語	0.40	308
英語	1.34	1,987



\* 30分未満は15分、30分以上1時間未満は45分、1時間以上2時間未満は90分、2時間以上3時間未満は150分、3時間以上5時間未満は240分、5時間以上は360分として計算し、平均時間数を出した。

\* それぞれの言語の専攻学科の学生は除いて算出した。

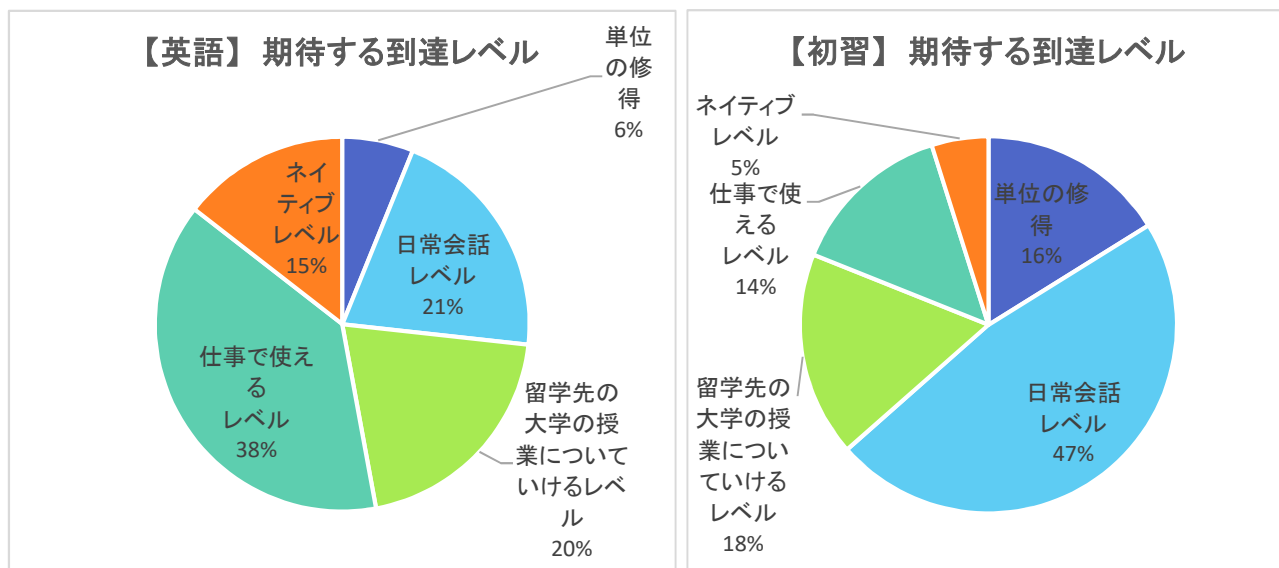
・学習時間とは別にその言語に触れている時間が最も長かったのは、韓国語で、他の言語を大きく上回った。韓流ドラマ、Kpop、韓国人の友人等、身近に韓国語に触れる機会があると思われる。  
 ・英語も、音楽、映画、Youtube、テレビやインターネットのニュース、ネイティブの友人等、やはり身近に英語に触れる機会があるため、時間が長くなっていると思われる。  
 ・初習言語の場合、初級レベルでネイティブの友人を作ることはまだ難しく、またニュースを聞いたりすることに無理があるため、音楽や映画等を除き、その言語に触れる時間はなかなか取りづらいと考えられる。



【設問8】履修しているすべての言語について、大学卒業時までの到達目標を各言語1つ選んで○をつけてください。  
 (英語以外の言語を4言語以上履修している人は英語と主な3言語に関して記入ください。)

8-1全体

言語	単位の修得	日常会話レベル	留学先の大学の授業についていけるレベル	仕事で使えるレベル	ネイティブレベル	無回答	総計
英語	137	458	453	855	322	0	2,225
	6.2%	20.6%	20.4%	38.4%	14.5%	0.0%	100.0%
初習	279	819	304	243	84	3	1,732
	16.1%	47.3%	17.6%	14.0%	4.8%	0.2%	100.0%
<b>計</b>	<b>416</b>	<b>1,277</b>	<b>757</b>	<b>1,098</b>	<b>406</b>	<b>3</b>	<b>3,957</b>
<b>割合</b>	<b>10.5%</b>	<b>32.3%</b>	<b>19.1%</b>	<b>27.7%</b>	<b>10.3%</b>	<b>0.1%</b>	<b>100.0%</b>



・英語の到達目標で最も多かったのは「仕事で使えるレベル」で、初習言語に比べて全体的に高い目標となっている。

・初習言語履修者の半数近く(47%)が、「日常会話レベル」を到達目標に挙げている。中学高校ですでに学んだことがある英語とは異なり、初学者がほとんどの初習言語の目標としては妥当といえる。

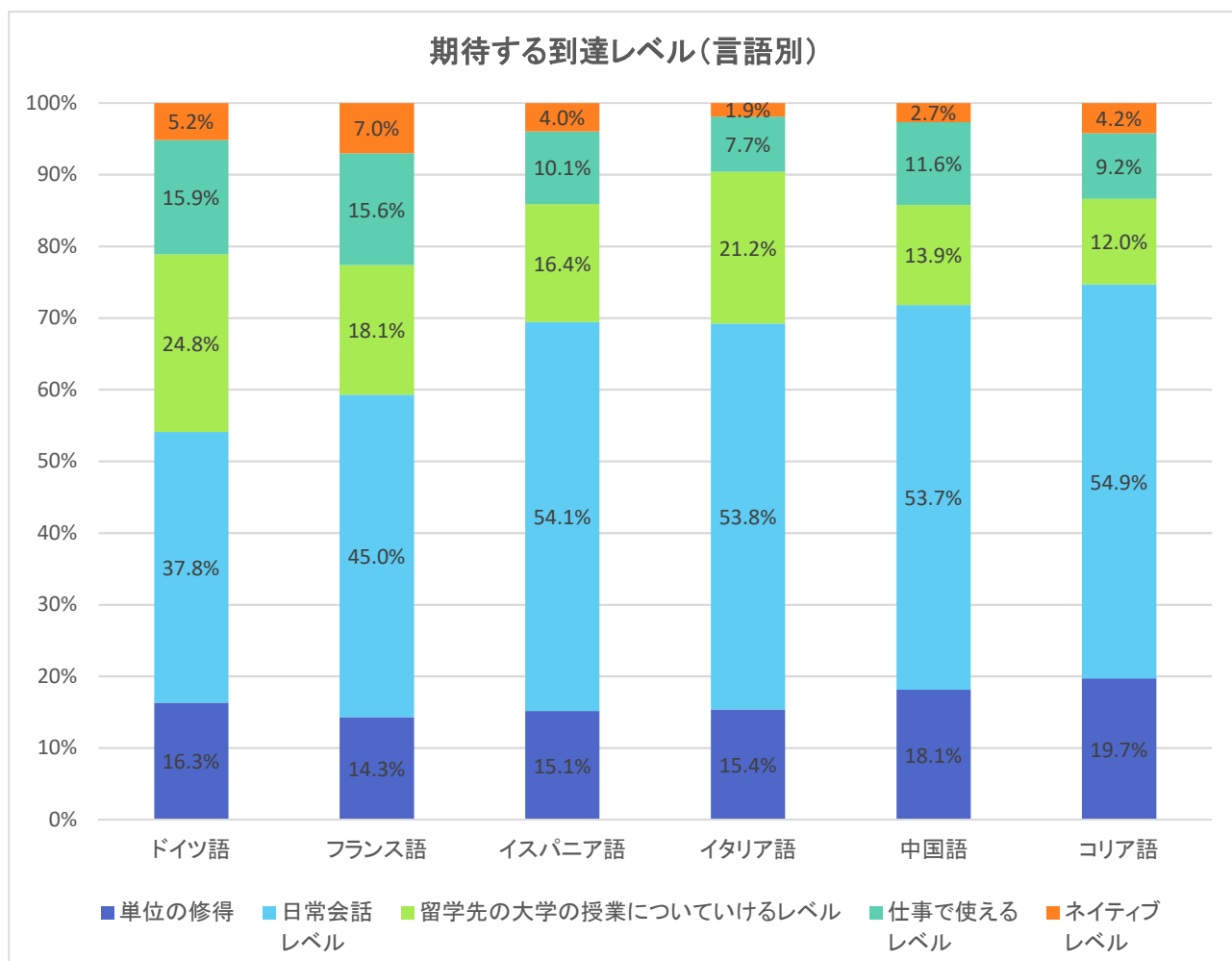
・初習言語では「単位の修得」を到達目標に掲げている学生は16%のみで、8割以上の学生が学習している言語を使えるレベルにまで高めようと思っていることが伺える。そして、4割近く(37%)が、日常会話レベルを超える高いレベルを目指している(「留学先の大学の授業についていけるレベル」(2割弱)、「仕事で使えるレベル」(14%)、「ネイティブレベル」(5%)。)



【設問8】履修しているすべての言語について、大学卒業時までの到達目標を各言語1つ選んで○をつけてください。  
 (英語以外の言語を4言語以上履修している人は英語と主な3言語に関して記入ください。)

8-2言語別

	単位の修得	日常会話レベル	留学先の大学の授業についていけるレベル	仕事で使えるレベル	ネイティブレベル
ドイツ語	16.3%	37.8%	24.8%	15.9%	5.2%
フランス語	14.3%	45.0%	18.1%	15.6%	7.0%
スペイン語	15.1%	54.1%	16.4%	10.1%	4.0%
イタリア語	15.4%	53.8%	21.2%	7.7%	1.9%
中国語	18.1%	53.7%	13.9%	11.6%	2.7%
韓国語	19.7%	54.9%	12.0%	9.2%	4.2%

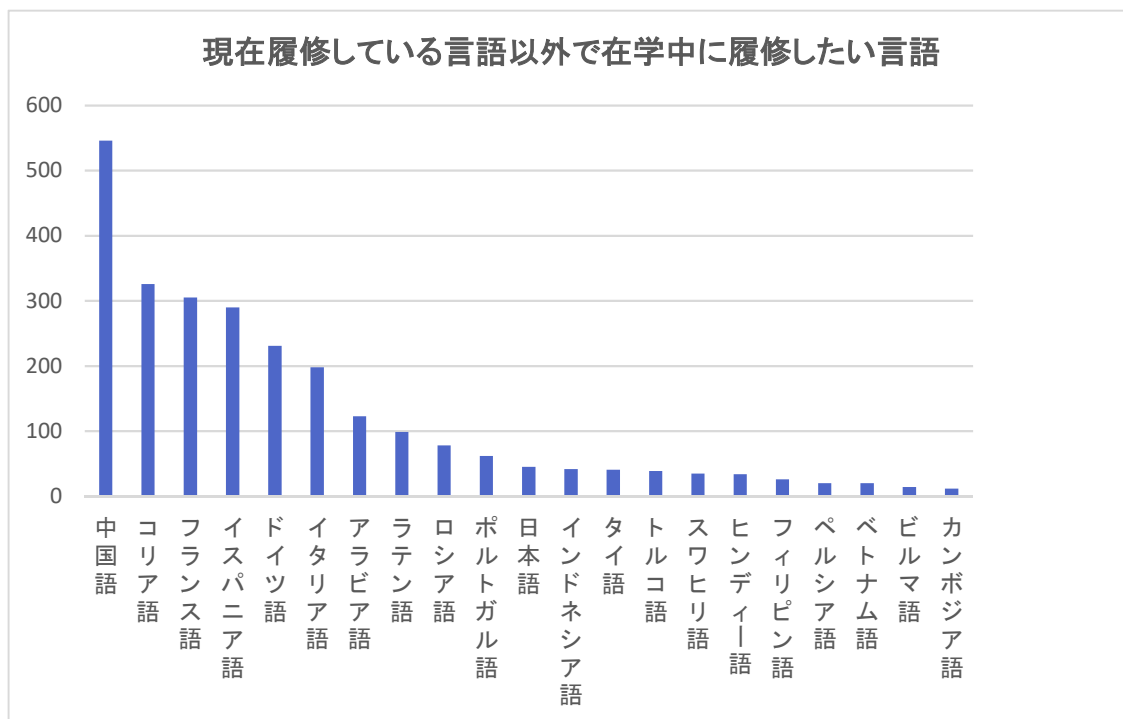


- ・いずれの言語でも「日常会話レベル」が最も多くなっているが、その割合は韓国語、スペイン語、イタリア語、中国語で特に高くなっている。
- ・逆に、「仕事で使えるレベル」と「ネイティブレベル」と答えた学生の割合は、ドイツ語とフランス語で特に高くなっている。
- ・「留学先の大学の授業についていけるレベル」、「仕事で使えるレベル」、「ネイティブレベル」を合わせた割合は、ドイツ語とフランス語で高く(46%、41%)、他の4言語に比べて高い到達目標を掲げる学生の割合が多いと言える。

【設問9】現在履修している言語以外で、在学中に履修したい言語はありますか？（複数回答可）

9-1 言語別

言語	人数	割合
中国語	546	16.2%
韓国語	326	9.7%
フランス語	305	9.1%
スペイン語	290	8.6%
ドイツ語	231	6.9%
イタリア語	198	5.9%
アラビア語	123	3.7%
ラテン語	99	2.9%
ロシア語	78	2.3%
ポルトガル語	62	1.8%
日本語	45	1.3%
インドネシア語	42	1.2%
タイ語	41	1.2%
トルコ語	39	1.2%
スワヒリ語	35	1.0%
ヒンディー語	34	1.0%
フィリピン語	26	0.8%
ペルシア語	20	0.6%
ベトナム語	20	0.6%
ビルマ語	14	0.4%
カンボジア語	12	0.4%
なし	778	23.1%
計	3,364	100.0%



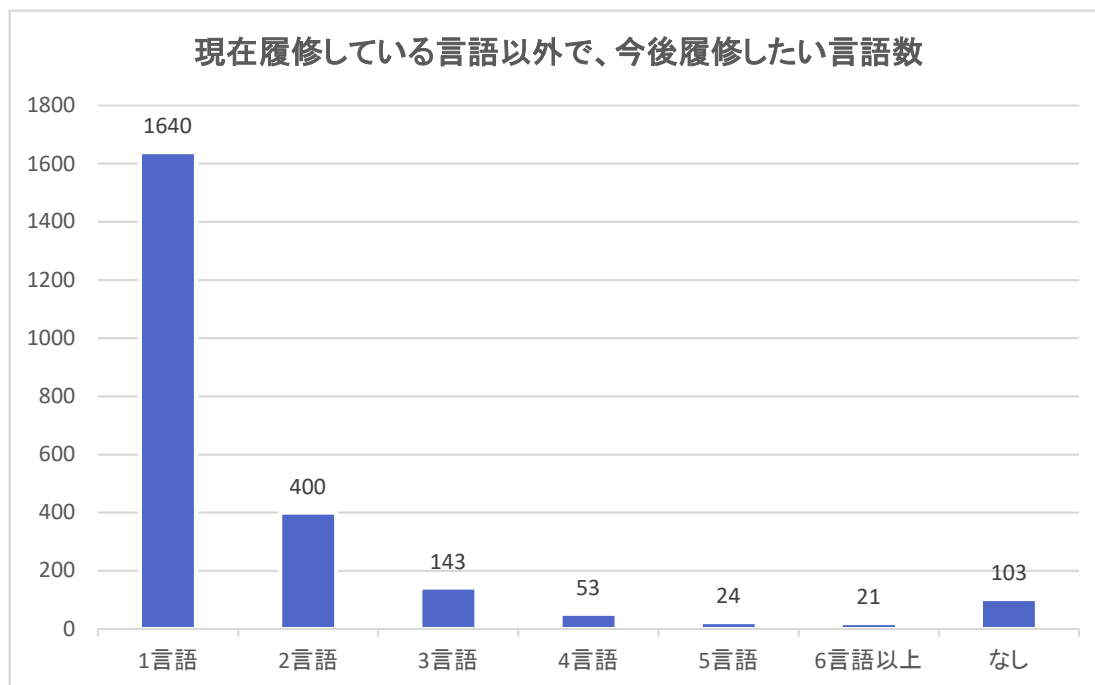
\*複数回答可であるため、合計数3,364は、アンケートの全回答者数2,384人を上回っている。

・履修したい言語は、中国語が圧倒的に多く、次いで韓国語、フランス語の順番である。2015年度調査では、ドイツ語、中国語、スペイン語がほぼ同数でTOP3だった。  
 ・履修したい言語がないと答えた学生は778人で、全回答者数3,364人の23%に当たる。8割近くの学生が何らかの言語（1つもしくは複数）の履修を希望していると答えている。

【設問9】現在履修している言語以外で、在学中に履修したい言語はありますか？（複数回答可）

9-2 言語数

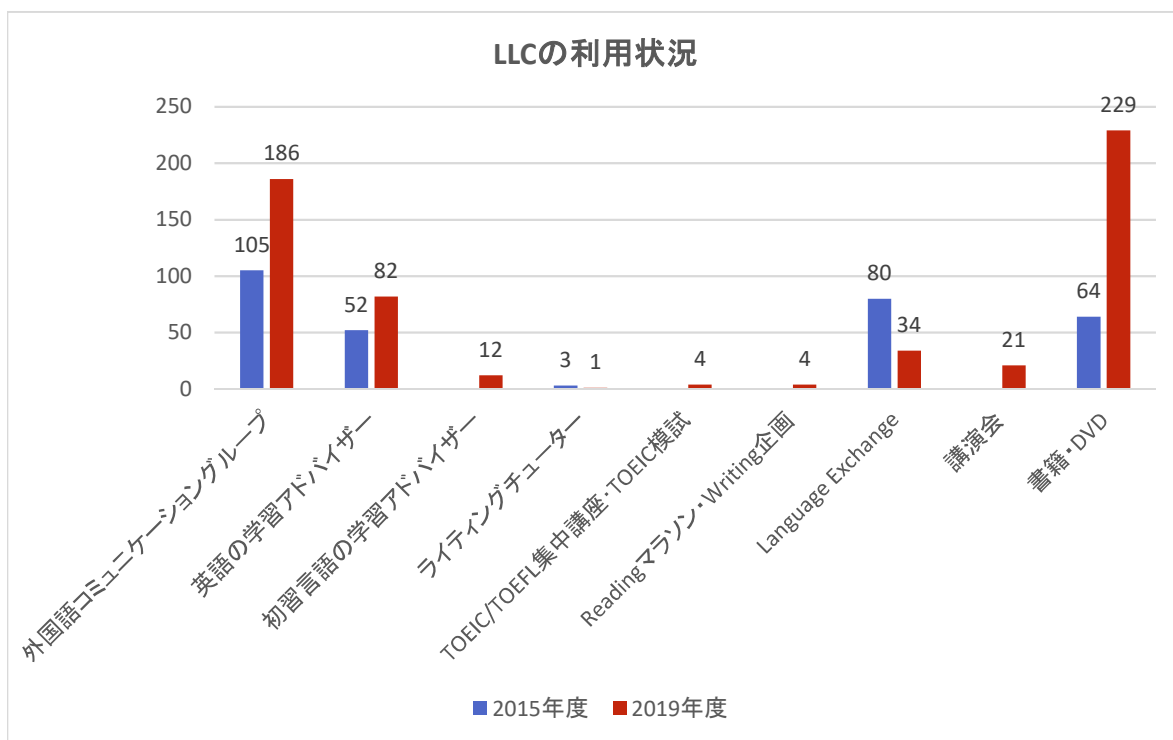
言語	人数	割合
なし	103	4.3%
1言語	1,640	68.8%
2言語	400	16.8%
3言語	143	6.0%
4言語	53	2.2%
5言語	24	1.0%
6言語	8	0.3%
7言語	5	0.2%
9言語	4	0.2%
10言語	2	0.1%
11言語	1	0.0%
13言語	1	0.0%
計	2,384	100.0%



・1つの言語を履修したいと回答している学生が最も多い(68.8%)が、2言語、3言語の履修を望む学生も相当数いることがわかった。

【設問10】6号館1階にあるLLC(Language Learning Commons)を利用したことがありますか？(複数回答可)  
10-1 全体

	設問	人数
1	外国語コミュニケーショングループ・日本語学習サポート制度を利用したことがある	186
2	英語の学習アドバイザー制度を利用したことがある	82
3	初習言語の学習アドバイザー制度を利用したことがある	12
4	ライティングチューター制度を利用したことがある	1
5	TOEIC/TOEFL集中講座・TOEIC模試を受講したことがある	4
6	ReadingマラソンやWriting企画に参加したことがある	4
7	Language Exchangeに参加したことがある	34
8	LLC主催の講演会に参加したことがある	21
9	書籍を借りたことがある	197
10	DVDを視聴したことがある	32
11	LLCの存在は知っているが利用したことはない	1,411
12	LLCの存在を知らなかった	467



\* 2015年度調査には、初習言語学習アドバイザー、TOEIC/TOEFL集中講座・TOEIC模試、Readingマラソン・Writing企画、講演会の選択肢はなかった。

・利用したことがあるサービスでは、書籍の貸し出しが最も多い。  
 ・2015年度の調査と比較すると、外国語コミュニケーショングループの利用が105→186、英語学習アドバイザーが52→82、書籍・DVDの貸し出しが64→229と、様々なサービスの利用者が増えている。  
 ・Language Exchangeの人数が減っているのは、2019年度調査が6月実施で、2015年度に比べて実施回数が少なかったため(2015年度調査は12月実施)。

【設問10】6号館1階にあるLLC(Language Learning Commons)を利用したことがありますか？(複数回答可)

10-2 前回調査との比較、学科別

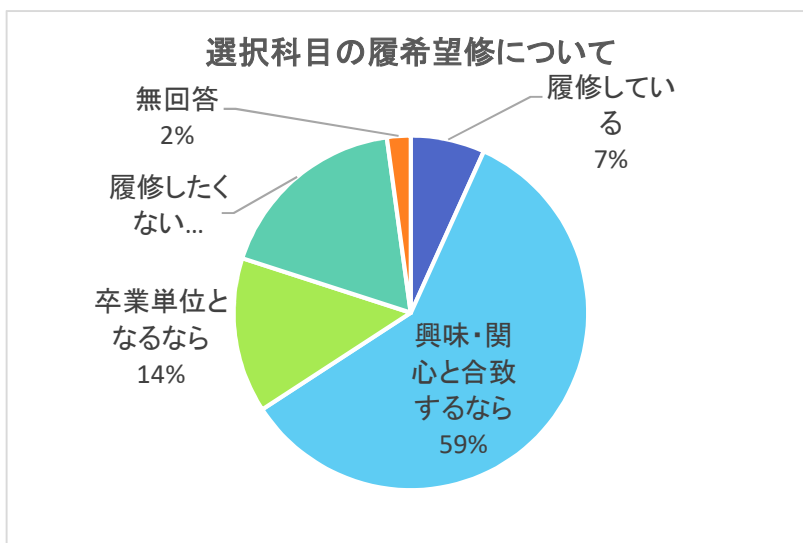
学部	学科	何らかの形で利用した	知っているが利用したことない	存在を知らなかった	無回答	総計	何らかの形で利用した割合
神	神	8	20	10		38	21%
文	哲	10	46	3	3	62	16%
	史	12	47	16		75	16%
	国文	7	37	14	1	59	12%
	英文	23	42	8	4	77	30%
	ドイツ文	11	23	10	4	48	23%
	フランス文	7	26	12	3	48	15%
	新聞	13	68	22	2	105	12%
総人	教育	13	30	7	3	53	25%
	心理	8	30	12		50	16%
	社会	9	29	13		51	18%
	社会福祉	14	30	16	3	63	22%
	看護	10	44	12	1	67	15%
法	法律	17	106	19	4	146	12%
	国際関係法	30	45	12		87	34%
	地球環境法	17	45	6	2	70	24%
経済	経済	34	76	26	3	139	24%
	経営	23	77	37	2	139	17%
外国語	英語	43	106	28	2	179	24%
	ドイツ語	17	33	8	3	61	28%
	フランス語	11	46	6		63	17%
	イスパニア語	7	42	12		61	11%
	ロシア語	6	32	10	1	49	12%
	ポルトガル語	10	24	19		53	19%
総グ	総合グローバル	52	111	18	5	186	28%
理工	物質生命理工	19	61	31	2	113	17%
	機能創造理工	21	50	37	4	112	19%
	情報理工	16	66	43	1	126	13%
不明	不明	1	2		1	4	25%
	計	469	1,394	467	54	2,384	20%



・2015年の調査では、「存在を知らない」「知っているが利用したことがない」と答えた学生が86%だったが、今回の調査は78%と10ポイント近く減った。  
 ・何らかの形で利用した学生も11%から20%と増えている。  
 ・2015年度のアンケートの実施期間が12月、今回の実施期間が7月だったことを考えると、前回調査より早い時期にLLCの利用が進んでいることがわかる。  
 ・学科別にみると、国際関係法学科、英文学科、ドイツ語学科、総合グローバル学科の利用率が高い。総合グローバル学科は前回調査でもLLCの利用率が高く、語学学習への関心の高さが窺われる。

【設問11】 1年次生の秋学期から履修できる英語の選択科目があります。  
履修したいと思いますか？

学部	学科	現在履修している		興味・関心と合致すれば履修したい		卒業単位となるなら履修したい		履修したくない		無回答	総計	履修している・履修したい	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合			人数	割合
神	神			20	53%	8	21%	10	26%		38	28	74%
文	哲			30	48%	9	15%	23	37%		62	39	63%
	史			35	47%	18	24%	22	29%		75	53	71%
	国文			38	64%	7	12%	14	24%		59	45	76%
	英文	41	53%	22	29%	5	6%	4	5%	5	77	68	88%
	ドイツ文	1	2%	28	58%	3	6%	14	29%	2	48	32	67%
	フランス文			26	54%	11	23%	7	15%	4	48	37	77%
	新聞			64	61%	20	19%	18	17%	3	105	84	80%
総人	教育	1	2%	35	66%	9	17%	4	8%	4	53	45	85%
	心理			31	62%	8	16%	11	22%		50	39	78%
	社会			35	69%	7	14%	8	16%	1	51	42	82%
	社会福祉			29	46%	12	19%	20	32%	2	63	41	65%
	看護	1	1%	30	45%	8	12%	28	42%		67	39	58%
法	法律			79	54%	31	21%	33	23%	3	146	110	75%
	国際関係法			69	79%	11	13%	7	8%		87	80	92%
	地球環境法	2	3%	38	54%	12	17%	17	24%	1	70	52	74%
経済	経済	1	1%	91	65%	18	13%	27	19%	2	139	110	79%
	経営	1	1%	91	65%	23	17%	23	17%	1	139	115	83%
外国語	英語	107	60%	46	26%	3	2%	17	9%	6	179	156	87%
	ドイツ語			41	67%	6	10%	12	20%	2	61	47	77%
	フランス語			48	76%	3	5%	12	19%		63	51	81%
	イスパニア語			46	75%	8	13%	5	8%	2	61	54	89%
	ロシア語			33	67%	7	14%	8	16%	1	49	40	82%
	ポルトガル語	1	2%	35	66%	8	15%	9	17%		53	44	83%
総グ	総合グローバル	1	1%	147	79%	18	10%	15	8%	5	186	166	89%
理工	物質生命理工	2	2%	76	67%	18	16%	15	13%	2	113	96	85%
	機能創造理工	1	1%	66	59%	19	17%	23	21%	3	112	86	77%
	情報理工			78	62%	27	21%	19	15%	2	126	105	83%
不明	不明	1	25%	1	25%	1	25%			1	4	3	75%
計		161	7%	1,408	59%	338	14%	425	18%	52	2,384	1,907	80%

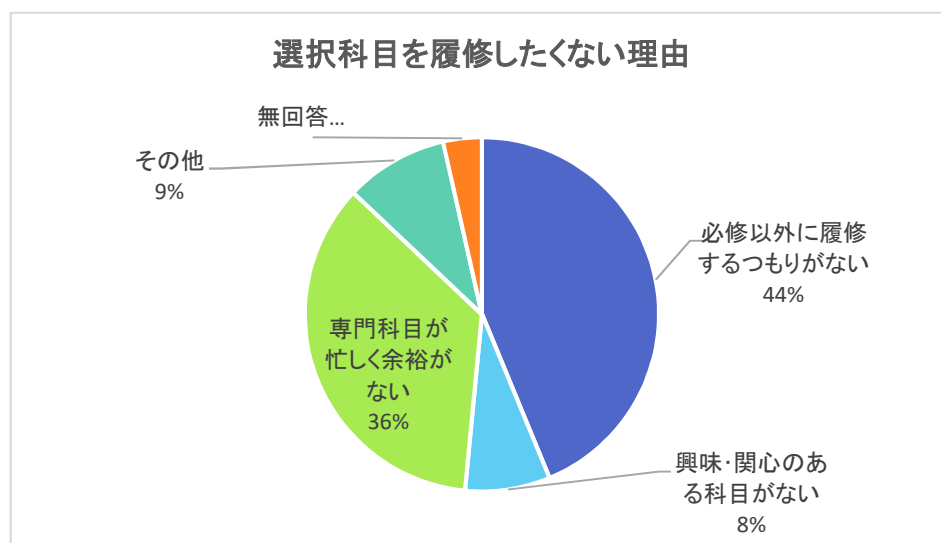


・1年生の春学期に選択科目が履修できるのは英文・英語学科の学生及び英語必修科目を単位認定された学生のみ。  
 ・履修している、履修したいと答えたのは全体で8割。本学学生の語学科目への高い履修意欲が窺われる。  
 特に国際関係法学科、イスパニア語学科、総合グローバル学科では9割前後の学生が履修したいと答えている、  
 ・英文・英語学科では卒業単位に算入されないにも関わらず、既に半数以上の学生が履修している。

【設問12】設問11で「履修したくない」(4番)と答えた人は、その理由を教えてください。

12-1 全体

学部	学科	回答者	必修以外に英語科目を履修するつもりがない		興味・関心のある科目がない		専門科目が忙しく、語学まで履修する余裕がない		その他	無回答
			人数	割合	人数	割合	人数	割合		
神	神	10			2	20%	6	60%	2	0
文	哲	23	12	52%	3	13%	5	22%	3	0
	史	22	15	68%	1	5%	5	23%	1	0
	国文	14	9	64%		0%	3	21%	1	1
	英文	4	3	75%		0%		0%	1	0
	ドイツ文	14	8	57%	1	7%	3	21%	2	0
	フランス文	7	3	43%	2	29%	2	29%		0
	新聞	18	9	50%	2	11%	5	28%	2	0
総人	教育	4	1	25%	1	25%	2	50%		0
	心理	11	6	55%	1	9%	4	36%		0
	社会	8	2	25%	1	13%	1	13%	2	2
	社会福祉	20	7	35%	3	15%	6	30%	2	2
	看護	28	15	54%		0%	12	43%		1
法	法律	33	15	45%	3	9%	11	33%	3	1
	国際関係法	7	4	57%		0%	3	43%		0
	地球環境法	17	10	59%		0%	6	35%	1	0
経済	経済	27	15	56%	1	4%	6	22%	5	0
	経営	23	9	39%	2	9%	8	35%	2	2
外国語	英語	17	8	47%	2	12%	1	6%	3	3
	ドイツ語	12	4	33%		0%	7	58%	1	0
	フランス語	12	3	25%	1	8%	8	67%		0
	イスパニア語	5	2	40%		0%	2	40%	1	0
	ロシア語	8	3	38%		0%	5	63%		0
	ポルトガル語	9	1	11%		0%	7	78%	1	0
総グ	総合グローバル	15	6	40%		0%	4	27%	4	1
理工	物質生命理工	15	3	20%	3	20%	9	60%		0
	機能創造理工	23	7	30%	2	9%	9	39%	3	2
	情報理工	19	6	32%	2	11%	11	58%		0
計		425	186	44%	33	8%	151	36%	40	15



- ・「必修科目以外に履修するつもりがない」と答えた学生は4割で、2015年度調査とほぼ同数。「専門科目が忙しくて余裕がない」は6%増えて36%
- ・「興味・関心のある科目がない」は前回調査より半減している。これは毎年履修登録の状況を見ながら、開講科目の入れ替えを行っている効果か。
- ・数は少ないものの、履修したくない理由も学科によってばらつきがある。

【設問12】 設問11で「履修したくない」(4番)と答えた人は、その理由を教えてください。  
12-2 その他の自由記述

- ・ 英語ができない、苦手、単位を落としたくない
- ・ 英語が好きではない
- ・ 必修科目だけで充分
- ・ 難かしそう
- ・ 英語はすでにできるから
- ・ 学科で勉強している(英語学科)
- ・ 他の言語を学びたい
- ・ 他の科目(語学以外)が取りたい
- ・ 時間数のわりに単位数が少ない
- ・ 将来英語が必要ではなくなると考える
- ・ 自分で学習できるから



### 13. 語学科目全般に関する意見・要望があれば、自由にお書きください。

- ・自由記述欄には384件の回答があった(全体の16%)。
- ・下記は自由記述欄の内容をFD委員会で分類し、整理したものである。
- ・自由記述の原文は、資料編の設問13を参照のこと。

#### ◆授業内容について

- ・難しい。進み方が速い。
- ・課題が多い。教員によって課題の量にばらつきがある。
- ・話す授業、会話力(ディスカッションやディベート)を鍛える授業がもっとほしい。
- ・中学、高校の座学と違って実践的な会話が多くて楽しい。
- ・文法、読解も学びたい。
- ・もっとリーディングをする時間を授業内で取り入れてほしい。
- ・留学や海外で実用的に使えるものや、ひたすら長文を読む訓練などがしたい。
- ・もっとボキャブラリーが増えるよう、単語テストなどがあってもいいと思う。
- ・ネイティブに習いたい。ネイティブの授業で満足している。
- ・日本人に習いたい。日本語も使ってほしい。
- ・グループワークが楽しい。話す機会が多いのがよい。
- ・トーク、プレゼンなどアクティブな授業なのがいい。
- ・もう少し大きくホワイトボードの文字を書いてほしい。
- ・同じレベルのクラスでも先生によって授業内容が異なるので統一してほしい。成績のつけ方も公平にしてほしい。
- ・もっとSpeakingのレベルに合った人たちと学べるようにしてほしい。
- ・座学だけでなく、その言語をもっと実践的に使う機会を、授業内に設けてほしい。

#### ◆カリキュラムについて

- ・少人数のクラスにしてほしい。
- ・語学の授業をもっと増やしてほしい。人気のある言語は多く開講してほしい。
- ・週1コマにしてほしい。予習復習が大変。時間割が制約される。
- ・週4コマの授業にしてほしい。
- ・全ての学部学科で、言語科目を必修/選択必修科目にしてほしい。
- ・その語学を用いた音楽や映像作品に触れる講義も取り入れてほしい。
- ・芸術(特に劇作系)やエンタメ的な文野のクラスがほしい。
- ・文学的な側面から外国語を学ぶことのできる授業がもっと増えてほしい。
- ・時事ニュースとか映画とかに関する授業を受けたい。
- ・検定対策となる授業がほしい。
- ・複数の言語を履修できるようにしてほしい。第3外国語まで履修しやすくしてほしい。
- ・いろんな言語が学べてとても楽しい。これからもこの伝統が受け継がれてほしい。
- ・入門的な授業がほしい。
- ・伸ばしたいスキル(4技能)が伸ばせる科目が選択必修でほしい。

#### ◆時間割や登録方法について

- ・学科の科目と時間割が重複しているので取れない。時間割を調整してほしい(回答多数)。
- ・ブロック制やめてほしい。学科の科目が取れない。
- ・第2外国語も履修中止できるようにしてほしい。
- ・選択科目として履修するとき、抽選に外れてしまうのを改善してほしい。
- ・希望する言語を誰でも履修できるようにしてほしい。
- ・第3言語を取りやすくしてほしい。第3外国語まで学べる環境にしてほしい。

#### ◆単位の扱いについて

- ・語学は予習、復習が必須でレポートや中間、期末試験もあり、ウェイトが重いのに1単位しかないことが不満(回答多数)。
- ・全学共通として認められる単位が8単位までしか卒業単位に加算されない。上限をなくしてほしい。
- ・短期語学研修は自分の専攻語圏でも単位を認めてほしい。

#### ◆学習方法について

- ・おすすめ教材を紹介してほしい。
- ・英語とドイツ語の勉強を両立させる方法を知りたいです。
- ・どうしたら英語のスピーキングの能力が上がるのかを教えてください。
- ・自習が間に合わないので、アドバイス・宿題の手伝いをしてくれるサービスが欲しいです。
- ・家で1人でもできる勉強法について知りたい(コンテンツなど)。

#### ◆英語について

- ・もっとコミュニケーション、スピーキングを重視した授業にしてほしい(回答多数)。
- ・ACはクラスによって課題量の差がありすぎ。
- ・ACのクラスを、授業内容や先生によって自分で希望できたらなと感じる。
- ・自分のレベルに合わせてACの授業もクォーターで変えられるとよい。
- ・ACでは英文和訳もやりたい(大学院入試で使ったりするため)。
- ・TOEFLなど検定対策に役立つ勉強がしたい。
- ・単位認定にTOEIC、英検も加えてほしい。
- ・選択科目でFLAや帰国子女が多くて難しかった。レベルを分かりやすくしてほしい。
- ・選択科目など、もっと勉強したいがレベルが高そうについていけないか自信がない。
- ・2年次にも必修の英語の授業が欲しい(英会話を重視したもの)
- ・筆記とリスニングだけでクラス分けするのはよくない。ライティングやスピーキングが追いつけない。
- ・ACのクラスに留学生を入れたらおもしろそう。
- ・もっと基本的な英語・英会話の授業がほしい。英語が苦手な人向けのクラスを作ってほしい。
- ・理工系の英語を勉強したい。

#### ◆初習言語について

- ・主要言語だけでなく、すべての言語の説明会を開いてほしい。マイナー言語に関する情報がほしい。
- ・もう少しマイナー言語の履修を充実させてほしい(複数回答)。
- ・ビルマ語中級クラスを開講してほしい。
- ・初習言語ではもっと詳しく文法を教えて欲しい。
- ・初回授業からイスパニア語を使って何話しているのかわからなかった。基礎ができてからにしてほしい。
- ・英語だけでもつらいのに第2外国語を学ぶ余裕がない
- ・フランス語のテキストがフランス語しか書いてないので、自主学习しづらい。
- ・新しい言語の授業がほしい(フィンランド語、エストニア語、スウェーデン語、オランダ語、ギリシャ語、クメール語、ウルドゥー語、エスペラントなど)(複数意見)
- ・上級レベルのさらに上のレベルを作ってほしい。

#### ◆日本語について

- ・週五じゃなくて、週二ぐらいのクラスがほしい。
- ・留学生なので日本語を履修したかったが、必修科目が多くてできなかった。

#### ◆LLCについて

- ・LLCについてよく知らない。活用したいので、詳細がわかるような機会を作ってほしい。授業内でアナウンスしてほしい。
- ・コミュニケーショングループのレベルが知りたい。
- ・コミュニケーショングループで扱う言語を増やしてほしい(ポルトガル語、アラビア語など)。
- ・英会話クラスを増やしてほしい。
- ・模試などをもう少し頻繁に実施してほしい。
- ・もう少し英語が話せるようLLCの企画を増やしてほしい
- ・課金制でも良いのでTOEFLやDELE等、しっかりとした試験対策をしてほしい。
- ・留学生・ネイティブと交流する場をLLCを通じてもっと増やしてほしい。語学ボランティアももっと増やしてもらいたい。

#### ◆学部・学科への要望

- ・哲学科必修のドイツ語の授業のペースをもっとゆっくりにして欲しい。最終的な目標がドイツ語で書かれた原典の哲学書を読むことなので、かけ足ではなくより丁寧に進めて欲しい。
- ・国文学科で漢文を学ぶのに中国語がカリキュラム上取れないのはおかしいと思います
- ・英文学科ですが、もっと英語を話せるような実戦的な授業がうけたいです。
- ・語学を専攻する文学部生に言語枠の授業の制限をつけてほしくない。
- ・看護学科ももう少し第2外国語をとりやすくしてほしい。
- ・英語が好きで英語学科に進んだのに、第2外国語に時間と活力を取られてつらい。第2外国語は1年生までにして自分の分野に集中したい。
- ・語学の学科とその他の学科であまりにも課題やテストの量が違うので悲しくなる。
- ・外国語学部の人、第3外国語を取りやすくしてほしい。
- ・理工学部にもエントリーする権利がほしい。
- ・理工学部でも第2外国語を学びたい。
- ・英語学科の選択必修科目に日本語授業の科目をもっと増やしてもらえると嬉しいです(文化や社会を学びたい。英語だと理解することがまず大変で本当に学びたいことを学べないため)

◆留学や留学生との交流について

- ・ 留学に関する情報がほしい。
- ・ サークルや部活、課外活動で知り合わない限りあまり留学生と関わる機会がなく、生の英語に触れるきっかけが少ない気がする。
- ・ その言語圏の人と交流する機会が欲しい。
- ・ 留学試験に関係する内容であれば、対策として受講したいと思う。
- ・ あまり英語を使う機会がない。もっと話してみたいが、どこで外国人(留学生)と会えるのかわからない。

◆その他

- ・ 欠席回数が厳しすぎる。課外活動による欠席を認めてほしい。
- ・ 上智の中にいると英語が話せることが多いので、それほど得意でない人は話しにくい雰囲気がある。
- ・ 留学生も多く、語学を鍛える環境がそろっている上智大学に入学したからには英語はもちろん、それ以外も頑張りたい。

## 総括

### ◆全体

今回の調査の目的の一つは、2019年度からはじまったブロック制の検証である。ブロック制とは、学部学科の必修科目と語学の時間割が重複しないように、学部ごとに語学の時間割(ブロック)を定める仕組みである。

ブロック制のメリットは、時間割の重複を避けることのほかに、学部別ごとにブロックを定めることによって、初習言語の履修が必須ではない学科にも一定の席数を確保することにある。

一方、デメリットとしては、主要6言語(ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、中国語、韓国語)が同じブロックにあることで、初習言語の同時履修がしにくくなることがあげられる。

初習言語の履修が必要な学科で、希望する言語が履修できなかった割合は前回調査(2015年度)の8.1%から3.6%に改善した。また、初習言語の履修が必要ない学科についても45%から21%と半減している。特に選択科目としての初習言語の履修希望者が多い総合グローバル学科の「空席がない」状況が3%に止まったことは大きな進歩であると言える。ブロック制導入目的の一つである、初習言語の履修が必要な学科と必要でない学科の履修機会の差を低減するという点について、一定程度達成できたと言える。

しかしながら、一部の学科では語学のブロックに学科の主要科目が置かれていることもあり、自由記述にはそのことへの強い不満が多数挙げられた。特に理工学部では19件の要望が書かれている。22言語という多彩な語学の学びを期待して入学した学生は多くいると考えられ、卒業要件の有無にかかわらず、語学ブロックとの時間割重複をできるだけなくしていただくよう、各学科には改めて検討をお願いしたいと考える。

### ◆初習言語について

今回の調査では、言語の履修動機や、学習時間、卒業時までの到達目標について初めて尋ねた。多くの学生がその言語や国に興味を持ち、専攻の学習や仕事に役立つと思って履修していることがわかった。また、半数の学生は日常会話レベルを目指し、2割の学生は留学先の大学の授業についていけるレベル、更に2割がそれ以上のレベルを目指している実態も明らかになり、本学学生の語学学習への意欲の高さが伺える。

履修動機や到達目標は、言語間、学部学科間による差もみられた。今後はこれらの情報を元に、よりきめ細やかなカリキュラムを学生のニーズに合わせて提供していけるよう、引き続きカリキュラムの検証、改善に努めたい。

### ◆英語の選択科目について

8割の学生が「履修している」「履修したい」と答えており、学生の英語向上に対する意欲の高さがうかがえる。前回調査との比較では、履修したくない理由の「専門科目が忙しくて余裕がない」が増え、「興味・関心のある科目がない」が半減した。英語選択科目については履修動向を踏まえながら、毎年科目の入れ替え(新設を含む)を行っている。今後も学生のニーズの把握に努めながら、選択科目の構成を検討していきたい。

### ◆LLCについて

LLCの認知度、利用経験はいずれも前回調査を上回った。前回調査が1年生の後半(12月)の実施であったことを考えると、入学直後からLLCを認知し、利用している学生が増えたことがわかる。LLCのサービス、企画の種類も増え、参加しやすくなったことも原因の一つであろう。しかしいまだに、LLCの存在は知っているが利用したことのない学生が6割近くいることを踏まえ、授業外の自学環境としてのLLCの活用を一層進めてゆく工夫をしていきたい。

◆自由記述から

「話せる語学」「留学や社会で使える語学」を求める声が多く見られた。全体としてネガティブな批判よりも、より高度で多彩な授業を求めるものや、複数言語を履修しやすい環境への要望など、語学への積極的な取り組み姿勢が感じられる意見が多い。本学学生の、とりわけ入学直後の1年次生の語学学習への高い関心意欲が感じられる。

相変わらず講義科目と比較して単位数が少ないことへの批判や、そのことを履修しない(履修したくない)理由とする意見が目立つ。これは語学科目だけではなく、本学すべての科目で、授業時間外の子習復習時間を確保し、単位の実質化が諮られているかを問うものであろう。語学科目においては、授業時間と同数の予習復習時間を課すカリキュラムを組み、単位数に見合った学習時間を確保している。

以上